

龍谷大学

留学生別科入学試験要項

RYUKOKU UNIVERSITY
JAPANESE CULTURE & LANGUAGE PROGRAM
ADMISSION GUIDE

2024 年 9 月 入 学

出願期間：2024年4月1日（月）～5月6日（月）＜必着＞

（報名期間：2024年4月1日（星期一）～5月6日（星期一）＜逾期无效＞）

2025 年 4 月 入 学

出願期間：2024年9月10日（火）～9月27日（金）＜必着＞

（報名期間：2024年9月10日（星期二）～9月27日（星期五）＜逾期无效＞）

ENTRANCE IN SEPTEMBER 2024

Application Period : April 1 - May 6 2024

ENTRANCE IN APRIL 2025

Application Period : September 10 - September 27 2024



**RYUKOKU
UNIVERSITY**

目 次
Table of Contents

| | |
|------------------------------|----|
| I. 龍谷大学留学生別科案内 | 1 |
| II. 入学試験要項 | 4 |
| III. 在留資格取得等に関する手続 | 11 |
| IV. 生活案内 | 13 |
| V. 参考資料：日本語能力評価の方法について | 15 |

<漢語>

| | |
|--------------------------|----|
| I. 龍谷大学留学生別科介绍 | 17 |
| II. 招生简章 | 20 |
| III. 有关取得在留资格的申请手続 | 27 |
| IV. 大学生活 | 29 |
| V. 参考資料：日语能力评价方法 | 30 |

<English>

| | |
|--|----|
| I. RYUKOKU UNIVERSITY JAPANESE CULTURE AND LANGUAGE PROGRAM ... | 32 |
| II. APPLICATION GUIDELINES | 35 |
| III. PROCEDURES FOR ACQUIRING RESIDENT STATUS ... | 44 |
| IV. GUIDE TO STUDENT LIFE | 47 |
| V. Reference Sheet Regarding the Assessment of Japanese Skills ... | 48 |

I. 龍谷大学留学生別科案内

1. 龍谷大学の概要

龍谷大学は1639年に本願寺の学寮として創設されました。現在では京都市に2キャンパスと滋賀県大津市に1キャンパス、10学部および短期大学部、大学院10研究科および留学生別科を有する総合大学です。学生数は約20,000名、このうち約650名が世界各国からの留学生です。

2. 留学生別科の概要

留学生別科（JCLP）は1年間の日本語・日本文化学習のためのプログラムで、日本語関係科目および多岐にわたる日本事情関係科目の授業を行っています。日本の大学・大学院への進学準備課程として理想的なコースです。

1. 特 色

- (1) 日本語関係科目は、学期ごとに日本語能力のレベルに合わせてクラス分けを行います。
- (2) 日本の文化や社会に関する日本事情関係科目および特別講義を午後に開設しています。
- (3) 日本語関係科目での課外授業を通して、京都に残る伝統文化や芸能を学ぶ機会もあります。
- (4) 龍谷大学の一般学生が利用できる全ての施設（図書館・情報処理施設等）が利用できます。
- (5) 留学生別科生を対象に、龍谷大学の大学院、学部へ進学するための推薦入学制度があります。

〈留学生別科生対象推薦入試実施大学院・学部 2024年4月現在〉

| | |
|------|---|
| 4月入学 | 経済学研究科・社会学研究科・先端理工学研究科・国際学研究科（ただしグローバルスタディーズ専攻を除く） 文学部・経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部（ただしグローバルスタディーズ学科を除く）・心理学部・先端理工学部・社会学部・農学部（ただし食品栄養学科を除く）短期大学部※ |
| 9月入学 | 経済学研究科・国際学研究科（ただしグローバルスタディーズ専攻を除く） 法学部・国際学部（ただしグローバルスタディーズ学科を除く） |

※予告なく変更となる場合があります。

※本学短期大学部の学生募集は、2025(令和7)年度以降、停止いたします。

2. 入学時期

入学時期は4月（第1学期）と9月（第2学期）です。開設科目はすべて Semester 制にて開講されており、第1学期または第2学期のいずれの学期からもプログラムを開始することができます。

3. 授業内容

(1)開講科目(参考:2024年度)予告なく変更となる場合があります

| 開講期 | 科目区分 | | 科目名 | 単位 | 使用言語 |
|-------------------------------------|-------------------------------|---|----------|--------|------------------|
| 第1学期 | 必修科目 | 日本語関係科目 | 日本語A | 12 | 日本語 英語 日本語 |
| | | | 日本事情関係科目 | 日本の宗教A | |
| | 日本の歴史・文学A | 2 | | | |
| | 日本の歴史・文学A | 2 | | | |
| | 日本の社会・文化A | 2 | | | |
| | 日本の社会・文化A | 2 | | | |
| | 日本の科学技術A | 2 | | | |
| | 日本の経済・経営A | 2 | | | |
| | 日本の経済・経営A | 2 | | | |
| | 日本の武道・芸道A | 2 | | | |
| | 日本の言葉A | 2 | | | |
| | 日本の法律・政治A | 2 | | | |
| | Japanese Religions A | 2 | | | |
| | Japanese Economy & Management | 2 | | | |
| | Japanese Law & Politics | 2 | | | |
| | 特別講義 | Special Lecture1A (Ryukoku Criminology) | 2 | | |
| | | 特別講義1A (囲碁) | 2 | | |
| | | 特別講義1A (N1対応) | 2 | | |
| | | 特別講義1A (N2実践編) | 2 | | |
| | | 特別講義1A (N2基礎編) | 2 | | |
| 特別講義1A (日本留学試験対策「日本語」) | | 2 | | | |
| 特別講義1A (日本留学試験対策「総合」) | | 2 | | | |
| 特別講義1A (日本文化入門) | | 2 | | | |
| 特別講義2A (漢字1) | 1 | | | | |
| 第2学期 | 必修科目 | 日本語関係科目 | 日本語B | 12 | |
| | | | 日本事情関係科目 | 日本の宗教B | 2 |
| | 日本の歴史・文学B | 2 | | | |
| | 日本の歴史・文学B | 2 | | | |
| | 日本の社会・文化B | 2 | | | |
| | 日本の社会・文化B | 2 | | | |
| | 日本の科学技術B | 2 | | | |
| | 日本の経済・経営B | 2 | | | |
| | 日本の経済・経営B | 2 | | | |
| | 日本の武道・芸道B | 2 | | | |
| | 日本の言葉B | 2 | | | |
| | 日本の法律・政治B | 2 | | | |
| | Japanese Religions B | 2 | | | |
| | Japanese Media & Arts | 2 | | | |
| | Japanese Society | 2 | | | |
| | Japanese Technology | 2 | | | |
| | Japanese Pop Culture | 2 | | | |
| | 特別講義 | Special Lecture1B (Postcolonialism) | 2 | | |
| | | 特別講義1B (囲碁) | 2 | | |
| | | 特別講義1B (N1対応) | 2 | | |
| 特別講義1B (N2実践編) | | 2 | | | |
| 特別講義1B (N2基礎編) | | 2 | | | |
| 特別講義1B (日本留学試験対策「日本語」) | | 2 | | | |
| 特別講義1B (日本留学試験対策「総合」) | | 2 | | | |
| 特別講義1B (日本文化入門) | | 2 | | | |
| 特別講義2B (漢字1) | 1 | | | | |
| 特別講義1B (龍大生とProject-based Learning) | 2 | | | | |

履修上の注意

- 1 日本語A及び日本語B、合計24単位は必修科目です。必ず受講してください。
- 2 選択必須科目(日本事情関係科目及び特別講義)から合計8単位を必ず履修してください。
- 3 同一科目名であっても担当者が違えば2つ以上登録できます。
- 4 同一担当者の同じ内容の科目は重複登録できません。異なる内容であれば重複して登録できます。
- 5 履修登録を行う際は、必ずシラバスを確認した上で、登録をしてください。

(2) 科目内容

日本語関係科目：入学した学期初めに行われるプレイスメントテストの成績によって、レベル別クラスに分けられます。

日本事情関係科目：日本の歴史や文学、社会や経済等を理解するための科目です。科目担当者は、本学の学部担当教員等で構成されています。

特別講義：日本文化入門、日本語能力試験に対応した科目等が開設されています。

(3) 開講科目時間割表（参考：2024年度 第1学期）※変更となる可能性があります。

| | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | |
|---|----------------|----------------|----------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 授業科目 | | 授業科目 | | 授業科目 | | 授業科目 | | 授業科目 | |
| 月 | 日本語A 別科3(視聴解) | 日本語A 別科3(視聴解) | 日本語A 別科3(視聴解) | 特別講義1A JLPT (N2基礎編) | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) |
| | 日本語A 別科4(視聴解) | 日本語A 別科4(視聴解) | 日本語A 別科4(視聴解) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) |
| | 日本語A 別科5(視聴解) | 日本語A 別科5(視聴解) | 日本語A 別科5(視聴解) | Japanese Economy & Management |
| 火 | 日本語A 別科3(読解) | 日本語A 別科3(読解) | 日本語A 別科3(読解) | 日本語A 別科3(文法) | 特別講義2A 漢字1 |
| | 日本語A 別科4(読解) | 日本語A 別科4(読解) | 日本語A 別科4(読解) | 日本語A 別科4(文法) | 日本の経済・経営A | 日本の経済・経営A | 日本の経済・経営A | 日本の経済・経営A | 日本の経済・経営A | 日本の経済・経営A |
| | 日本語A 別科5(読解) | 日本語A 別科5(読解) | 日本語A 別科5(読解) | 日本語A 別科5(文法) | 日本の歴史・文学A | 日本の歴史・文学A | 日本の歴史・文学A | 日本の歴史・文学A | 日本の歴史・文学A | 日本の歴史・文学A |
| 水 | 日本語A 別科3(総合) | 日本語A 別科3(総合) | 日本語A 別科3(総合) | 特別講義1A JLPT(N2実践編) | 日本の武道・芸道A | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「日本語」) |
| | 日本語A 別科4(総合) | 日本語A 別科4(総合) | 日本語A 別科4(総合) | 特別講義1A JLPT(N1対応) | 日本の武道・芸道A | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) | 特別講義1A(日本留学試験対策「総合科目」) |
| | 日本語A 別科5(やりとり) | 日本語A 別科5(やりとり) | 日本語A 別科5(やりとり) | 日本の社会・文化A | 日本の武道・芸道A | 日本の社会・文化A | 日本の社会・文化A | 日本の社会・文化A | 日本の社会・文化A | 日本の社会・文化A |
| 木 | 日本語A 別科3(総合) | 日本語A 別科3(総合) | 日本語A 別科3(総合) | 特別講義1A (囲碁) | 日本の宗教A | 特別講義1A (日本文化入門) |
| | 日本語A 別科4(総合) | 日本語A 別科4(総合) | 日本語A 別科4(総合) | 特別講義1A (日本文化入門) | 日本の宗教A | 特別講義1A (日本文化入門) |
| | 日本語A 別科5(口頭表現) | 日本語A 別科5(口頭表現) | 日本語A 別科5(口頭表現) | Japanese Law & Politics | 日本の宗教A | Japanese Law & Politics |
| 金 | 日本語A 別科3(文章表現) | 日本語A 別科3(文章表現) | 日本語A 別科3(文章表現) | 日本語A 別科3・4(HR) | 日本の法律・政治A | 日本語A 別科3・4(HR) |
| | 日本語A 別科4(文章表現) | 日本語A 別科4(文章表現) | 日本語A 別科4(文章表現) | 日本語A 別科5(文章表現) | 日本の法律・政治A | 日本語A 別科5(文章表現) |
| | 日本語A 別科5(HR) | 日本語A 別科5(文章表現) | 日本語A 別科5(文章表現) | | Japanese Religions A | | | | | |

4. 修業年限および修了

留学生別科の修業年限は1年です。1年間別科に在学し、日本語A及び日本語B（必修科目）の計24単位と、日本事情関係科目・特別講義（選択必修科目）から計8単位の修了要件単位数を修得した学生について、修了が認定されます。

5. 学年暦（2024年度）

| | 第1学期 | 第2学期 |
|-------------|------------|------------------------|
| 入学式 | 4月2日 | 9月18日 |
| オリエンテーション期間 | 4月1～8日 | 9月9～18日 |
| 授業開始 | 4月9日 | 9月19日 |
| 試験期間 | 7月30日～8月6日 | 1月22～25日、1月27～28日、2月1日 |
| 修了証書授与式 | 9月18日 | 3月18日 |

Ⅱ. 入学試験要項

1. 募集人数

留学生別科定員：40名

募集人数：4月入学・9月入学 各20名程度

2. 出願資格

次のいずれかの条件を満たしていること。

1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および入学の前月までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
2. 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および入学の前月までに修了見込みの者。
3. 日本の高等学校卒業者に相当する年齢に達し、同等以上の学力があると本学が認めた者。

さらに日本語の学習について、次のいずれかの条件を満たしていること。

出願時において

- 1) 日本語の総学習時間が300時間以上の者
- 2) 日本語能力試験N4以上の合格者

※日本国内の他の日本語教育機関に在籍した期間（留学生別科入学日までの期間）が1年を超える者は出願できません。

3. 保証人と経費支弁者について

保証人、経費支弁者については、日本国内居住者、日本国外居住者ともに、引き受けて頂くことができます。

なお、同一人物が保証人と経費支弁者を兼ねて頂くことも可能です。

(保証人) 志願者の在学期間中の一切の行動について責任を負います。経費支弁者を兼ねている保証人は、必要経費についても責任を負います。また、志願者に日本の法令および龍谷大学の規則を守らせ、留学目的外の活動をさせず、学業に専念できるよう指導をしていただかなければなりません。

(経費支弁者) 志願者の在学期間中の一切の必要経費について責任を負います。

4. 出願期間

9月入学：2024年4月1日（月）～2024年5月6日（月）〈必着〉

4月入学：2024年9月10日（火）～2024年9月27日（金）〈必着〉

5. 出願方法

以下の方法で郵送にて出願してください。すべての出願書類が、必ず出願期間の最終日まで
に本学に届くようにしてください。

【日本国内から出願する場合】

書留速達郵便で出願してください。

【日本国外から出願する場合】

国際スピード郵便（EMS）等、最も確実かつ速い郵便等でお出願してください。

郵送先：〒612-8577
京都府京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学留学生別科 留学生別科入試係

6. 受験料 15,000円

納入された受験料は、受験意思の表明とみなし、返還しません。

【日本国内から納入する場合】

本学所定の「受験料振込依頼書」を使用して金融機関で納入してください。「受験料振込依
頼書」および「出願用領収書」には必ず志願者名、振込人名等を記入してください。

なお、取扱銀行の収納印のある「出願用領収書」を入学願書の指定箇所のにり付けして提出
してください。

【日本国外から納入（送金）する場合】

以下のいずれかの方法で納入してください。

①フライワイヤーからの送金

ryukoku-globe-app.flywire.comにアクセスして、または、右のQRコードをスキャンし
て、以下の手順で送金してください。

- 1.国を選択
- 2.支払い方法を選択
- 3.支払い人情報を入力
- 4.出願者情報を入力
- 5.手順に従って、送金を行う

支払期限は出願期間最終日の23時59分00秒（日本時間）までとなります。



②金融機関からの日本円送金

日本国外から送金される場合は、以下の点にご注意ください。

外貨では受付ません。必ず**日本円**で以下の銀行口座に送金してください。送金に係る手数料
は、すべて本人が負担してください。あなたの国での手数料を負担するとともに、別途、日
本の銀行手数料**16,500円**を送金してください。入金に不足が生じた場合、願書は受理でき
ません。不足分の納入がなく出願が許可されない場合も、返金はできませんのでくれぐれも
ご注意ください。

また、日本の銀行でかかる手数料が1,500円を超えない場合でも差額は返金しません。

なお、取預銀行の収納印のある振込受付証明書またはその写しを入学願書の指定箇所のにり
つけて提出してください。

| | |
|-----------------------|--------------------------------|
| あなたの国での金融機関の手数料 ↓ | 日本の金融機関の手数料 (1,500円/送金する) ↓ |
| ① | ② 本学の受験料 15,000円 |
| ③ 1,500円 | |
| 日本への送金額 16,500円 (②+③) | |
| あなたの支払総額 (①+②+③) | |

銀行名：三菱UFJ銀行 京都駅前支店 (TEL：+81-(0)75-371-2171)
 銀行所在地：京都府京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614
 銀行SWIFTコード：BOTKJPJT
 銀行コード：0005
 支店番号：434
 預金種類：普通預金
 口座番号：3033997
 口座名義：学校法人龍谷大学

※必ず出願者本人の住所・氏名で送金手続きをしてください。

7. 出願上の注意

1. 日本文・英文以外の書類には、日本語訳または英語訳を必ずつけてください。
2. 出願書類に虚偽の記載や不備があった場合は受験資格を失います。
3. 合格発表後に出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載のあったことが明らかとなった場合は、合格を取り消します。
4. 入学後に出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載のあったことが明らかとなった場合は、除籍または懲戒退学になります。

8. 出願書類

査証申請の際に必要なことがあるので、願書のコピーを一部手元に保管してください。

(1) 入学願書 (本学所定用紙) 様式①

必ず志願者本人がすべての項目に記入してください。

(2) 学業成績証明書および卒業証明書

以下のとおり提出してください。証明書類は、出身校等の教育機関発行の**原本**に限ります。

【最終学歴が高等学校の場合】

高等学校に**在学中**の者

- ① 高等学校の卒業見込み証明書
- ② 高等学校の成績証明書 (在学期間の各学年別に成績を証明したもの)
 ※入学は高等学校卒業が条件となりますので、本学入学式までに必ず卒業証明書を提出してください。

高等学校を**卒業**した者

- ① 高等学校の卒業証明書

- ② 高等学校の成績証明書（在学期間の各学年別に成績を証明したもの）

【最終学歴が大学等の高等教育機関の場合】

大学等の高等教育機関に**在学中**の者

- ① 高等学校の卒業証明書
- ② 高等学校の成績証明書（在学期間の各学年別に成績を証明したもの）
- ③ 大学等の高等教育機関の成績証明書（在学期間の各学年別に成績を証明したもの）
- ④ 大学等の高等教育機関の在学証明書

大学等の高等教育機関を**卒業（修了）**し、**学士以上の学位**を取得した者

- ① 学位取得証明書または学位証の原本
- ② 大学等の高等教育機関の卒業（修了）証明書または卒業（修了）証書の原本
- ③ 大学等の高等教育機関の成績証明書（在学期間の各学年別に成績を証明したもの）

大学等の高等教育機関を**卒業（修了）**したが、**学士以上の学位**を取得していない者

- ① 高等学校の卒業証明書
- ② 高等学校の成績証明書（在学期間の各学年別に成績を証明したもの）
- ③ 大学等の高等教育機関の卒業（修了）証明書または卒業（修了）証書の原本
- ④ 大学等の高等教育機関の成績証明書（在学期間の各学年別に成績を証明したもの）

(3) 日本語能力認定書（本学所定用紙）様式②

- ① 日本語講師等で、日本語能力を適切に評価できる者によって書かれた証明書です。
- ② 自習により日本語を学習した者は、「日本語能力認定書」の「1. 志願者氏名」「4. 出願時における日本語能力評価」「5. 日本語学習方法」「6. 使用した教科書」「7. 出願時における日本語学習時間状況」の欄のみ記入して提出してください。
- ③ 「日本語能力試験」（財団法人日本国際教育支援協会）または「日本留学試験」（日本学生支援機構）の「日本語」を受験した者は、その成績通知書も併せて提出してください。

(4) 自己紹介等を収録した動画記録メディア（DVD-R、SDカード、USBメモリのいずれか1つ）

まず、最初に自分の名前と出身地を必ず述べてください。
次に、以下の3点について、面接に答える形（原稿などを読み上げるのではなく）で、志願者本人が日本語で3分程度録画してください。

- ① 自分の今までについて（どんな勉強をしてきたか、どんなことを考えてきたか等）
- ② 留学生別科に入って何をしたいのか
- ③ 進学や就職など、自分の将来計画について

※動画形式はMPEG（MP4推奨）形式での提出をお願いします（その他の形式の場合、再提出をお願いする場合があります）。動画の編集は絶対に行わないでください。

※国際スピード郵便（EMS）等で発送禁止品に指定誰、動画記録メディアが発送できない場合は、inbound.r-globe@ad.ryukoku.ac.jp へご連絡の上、ご相談ください。

(5) 留学生別科志望理由書（本学所定用紙）様式③

志願者本人が、必ず日本語で記入してください。

(6) 経費支弁に関する証明書

以下のとおり提出してください。

【本国経費支弁者の場合】

①②ともに、経費支弁者名義の証明書に限ります。

① **残高証明書 … 原本を提出**

留学生別科修了後に帰国する予定の場合は、別科在学中の学費と生活費（月額100,000円以上）の残高証明が必要です。また、留学生別科修了後に日本の大学や大学院に進学する予定の場合は、別科在学中の学費と生活費の残高証明と併せ、次年度以降の学費と生活費に関する証明も必要になります。

② **在職証明書**

年収が証明されているもので、①の財産形成が証明できるものに限ります。

③ **本人との関係を証明するもの**

戸籍謄本、住民票、親族公証書等のうちいずれかひとつ。

④ **経費支弁引受経緯等説明書・誓約書**（本学所定用紙）様式④

【在日経費支弁者の場合】

① **在職証明書**

自営業の場合は、登記簿謄本の写しまたは営業許可書または受付印のある確定申告書のコピー等を提出してください。

② **所得証明書**

会社員、公務員等の場合は源泉徴収票、その他の場合は、年収の記載された証明書を提出してください。

③ **住民票**

経費支弁者が外国人の場合は、住民票に「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。

※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

④ **本人との関係を証明するもの**

経費支弁者が本人の親族の場合は、戸籍謄本、住民票、親族公証書等のうちいずれかひとつ。知人、友人の場合は、本人との関係を記した説明書、一緒に写っている写真等。

⑤ **経費支弁引受経緯等説明書・誓約書**（本学所定用紙）様式④

【自己負担の場合】

①②ともに、本人名義の証明に限ります。

① **残高証明書 … 原本を提出**

留学生別科修了後に帰国する予定の場合は、別科在学中の学費と生活費（月額100,000円以上）の残高証明が必要です。また、留学生別科修了後に日本の大学や大学院に進学する予定の場合は、別科在学中の学費と生活費の残高証明と併せ、次年度以降の学費と生活費に関する証明も必要になります。

② **在職証明書**

年収が証明されているもので、①の財産形成が証明できるものに限ります。

【奨学金による場合】

① **奨学金給付証明書**

奨学金給付額、給付期間、給付機関が記載された証明書を提出してください。

(7) 保証人に関する証明書

以下のとおり提出してください。

【本国保証人の場合】

① **身元保証書**（本学所定用紙）様式⑤

② **身元保証引受経緯等説明書**（本学所定用紙）様式⑥

【在日保証人の場合】

- ① 身元保証書（本学所定用紙）様式⑤
- ② 身元保証引受経緯等説明書（本学所定用紙）様式⑥
- ③ 在職証明書（※保証人が経費支弁者と異なる場合のみ提出）
自営業の場合は、登記簿謄本の写しまたは営業許可書または受付印のある確定申告書のコピー等を提出してください。
- ④ 住民票（※保証人が経費支弁者と異なる場合のみ提出）
保証人が外国人の場合は、住民票に「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。
※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

(8) 写 真

5枚（縦4cm×横3cm）提出してください。1枚は願書に貼り付け、4枚は封筒に入れて添付してください。最近3か月以内に撮影したもので正面脱帽。裏面に氏名を記入してください。

(9) パスポートの写し

顔写真および日本への出入国歴の記載されたページの写し。

(10) 在留資格認定証明書交付申請願出書および誓約書（大学代理申請を希望する場合のみ提出）様式⑦

大学に代理申請を願い出すことができます。希望者は、【Ⅲ. 在留資格取得等に関する手続】（P.11参照）をよく読んで必要書類を提出してください。

9. 選考方法および選考結果

1. 選考方法

出願書類等による提出物に基づき選考を行います。ただし、本学が必要と判断した場合は以下の①②を実施し、それらを総合的に判断の上合否を決定します。

- ① 志願者についての確認
日本国内居住の場合：電話による本人確認・日本語学習状況等の確認
※必要に応じ、来学による面談を求める場合があります
日本国外居住の場合：電話による本人確認・日本語学習状況等の確認
- ② 保証人、経費支弁者についての確認
日本国内居住の場合：電話による保証、経費支弁の意志等の確認
※必要に応じ、来学による面談を求める場合があります
日本国外居住の場合：電話による保証、経費支弁の意志等の確認

※本学からの電話には、必ず志願者本人、保証人本人、経費支弁者本人が応答してください。なお、必要に応じ、本学が来学を依頼した場合は、必ず来学し面談を受けてください（志願者、保証人、経費支弁者が日本国内居住の場合、同行を求めることがあります）。

2. 選考結果

選考結果発送日

9月入学：2024年6月上旬

4月入学：2024年11月上旬

※電話やEメールでの問い合わせには一切応じません。

※選考結果について志願者本人の電子メールアドレス宛に通知します。

なお、電子メールでの通知に問題が生じた場合等は郵送で対応する場合がございますのでご了承ください。

10. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続に必要な書類と手続方法を通知します。所定の期日までに入学手続を完了してください。

1. 入学時納入金（2025年4月入学については、変更する場合があります。）

| | |
|--------------|----------|
| 入学金 | 50,000円 |
| 授業料（1学期分・半年） | 243,500円 |
| 合計（入学時納入金） | 293,500円 |

※入学時納入金のうち、入学申込金は50,000円となります。この入学申込金は返還いたしません。

※フライワイヤーからの送金については、合格者に案内いたします。

※海外から本学の口座に直接送金する場合は、必ず日本の銀行手数料(1,500円)を加算し、期日までに到着するよう注意してください。

※入金の際には必ずその領収書を保管しておいてください。入学辞退で授業料返還の際に必要となります。

2. 入学手続期限

9月入学：2024年6月13日（木）〈厳守〉

4月入学：2024年11月14日（木）〈厳守〉

11. 学 費

2025年4月入学については変更する場合があります。

1. 入学金：50,000円
2. 授業料：487,000円（年額）
最初の学期の授業料は入学手続期間に入学時納入金として、次の学期の授業料は次の学期開始後の指定された期日までに納入してください。
3. 教科書代：入学後、5,000円程度必要になります。

12. 入学辞退

すべての入学手続完了後、在留資格認定証明書不交付、他大学進学等により本学への入学を辞退する場合は、所定の期間内に入学辞退・授業料等返還に関する手続を完了してください。手続を完了された場合に、入学申込金（50,000円）を除く入学時納入金を返還いたします。

手続には時間を要しますので、早急にお申し出ください。申し出者には、入学辞退・授業料等返還に必要な書類と手続方法を通知いたします。

入学辞退・授業料等返還手続書類締切日

9月入学：2024年9月10日（火）〈必着〉

4月入学：2025年3月25日（火）〈必着〉

Ⅲ. 在留資格取得等に関する手続 (出願前に必ずよくお読みください)

留学生として日本に滞在するには原則として「留学」の在留資格が必要です。志願者は入学許可書受領後に在留資格取得等に関する手続をすることになります。

1. 現在すでに日本に滞在している場合

1. すでに「留学」の在留資格を有している場合は、本人が出入国在留管理局で在留期間更新の手続および所属機関の変更の手続をしてください。
2. 「日本人の配偶者等」「定住者」などの場合は、在留資格変更の必要はありません。ただし留学生としての優遇措置等が受けられない場合があります。
3. その他の在留資格の場合は、出入国在留管理局へ相談してください。

2. 海外在住の場合

入学許可書受領後に在留資格「留学」の資格を取得するための「在留資格認定証明書」交付申請をします。交付後本人が「入学許可書」及び「在留資格認定証明書」を提示して日本領事館等で査証申請手続をすることになります。以下の手順に従って手続をしてください。

1. 「在留資格認定証明書」の交付申請

入学許可書を受領後、日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」の交付申請をします。この申請は本人または代理人が行います。本人が申請できない場合に代理人となり得る者は以下のとおりです。

| 代理人 | 申請先 |
|--------------|--|
| ① 龍谷大学 | 大阪出入国在留管理局京都出張所 |
| ② 奨学金支給団体 | |
| ③ 日本在住の経費支弁者 | 大阪出入国在留管理局京都出張所または代理申請者の住所地を管轄する地方出入国在留管理局 |
| ④ 日本在住の本人の親族 | |

2. 龍谷大学による代理申請

(1) 代理申請願出の資格

留学生別科に入学を希望する私費外国人留学生で、次の要件のいずれかを満たす者は、大学代理申請を願出することができます。

- ① 留学中の必要経費の支弁能力があり所定の証明書にてそのことが証明できる者。
- ② 留学中の必要経費を十分な額の奨学金により支弁できる者。

(2) 代理申請の願出

代理申請を希望する場合は、「代理申請願出書」(本学所定用紙)を提出してください。代理申請ができるかどうかは大学が判断します。代理申請の可否、また申請結果について、大学に対し異議を申し立てることはできません。出願書類に不備があれば代理申請をすることはできません。また大学が代理申請できる在留資格は「留学」に限ります。

- (3) 代理申請願い出の手順
- ① 合格通知にしたがって入学手続をしてください。
 - ② 入学手続の完了を確認した後、代理申請を行います。
 - ③ 「在留資格認定証明書」が交付された場合は、「入学許可書」とともに本人宛に送付します。不交付の場合はその旨通知します。
- (4) 必要書類 ②以外は出願時に提出してください。

| 必要書類 | 注意事項等 |
|------------------|---------------------------------------|
| ①代理申請願出書 | 本学所定用紙 |
| ②在留資格認定証明書交付申請書 | 入学手続完了後、出願書類に基づき大学が必要事項を記入し申請します。 |
| ③写真1枚（縦4cm×横3cm） | 正面・上半身脱帽・無背景で鮮明なもの。出願用写真（5枚）に含まれています。 |

※注意 日本国法務省出入国在留管理局の方針により、必要に応じて経費支弁能力等を立証する追加書類を提出していただく場合があります。

3. 奨学金支給団体、日本在住の経費支弁者、親族による代理申請

「在留資格認定証明書」交付申請については、奨学金支給団体は大阪出入国在留管理局京都出張所に、経費支弁者、親族は住所地の地方出入国在留管理局または大阪出入国在留管理局京都出張所に代理申請をします。必要書類・手続は出入国在留管理局でお問い合わせください。

在留資格についての問い合わせ

外国人在留総合インフォメーション・センター（大阪）
大阪市住之江区南港北1-29-53

TEL：0570-013904
海外：03-5796-7112

※日本語のほか、英語・韓国語・スペイン語・中国語等で相談できます。

在留資格認定証明書交付申請についての問い合わせ

京都府……………大阪出入国在留管理局京都出張所
京都市左京区丸太町川端東入ル東丸太町34-12
京都第2地方合同庁舎4F TEL：075（752）5997

大阪府……………大阪出入国在留管理局
大阪市住之江区南港北1-29-53
TEL：06（4703）2100

奈良県……………大阪出入国在留管理局奈良出張所
奈良市東紀寺町3-4-1
奈良第2法務総合庁舎内 TEL：0742（23）6501

滋賀県……………大阪出入国在留管理局大津出張所
大津市京町3-1-1
大津びわ湖合同庁舎6F TEL：077（511）4231

IV. 生活案内

1. 奨学金

留学生別科生のために、龍谷大学の「外国人（留学生）特別奨学金」（月額22,500円）と日本学生支援機構の「私費外国人留学生学習奨励費」※（月額48,000円）の2つの奨学金があり、学業・人物ともに優秀な学生に支給しています。

※留学生別科生対象「私費外国人留学生学習奨励費」は不定期での募集です。年度によっては募集がない場合があります。

留学生別科生対象の奨学金（2023年度実績）

| 奨学金名称 | 支給額 | 採用人数(第1学期) | 採用人数(第2学期) |
|-------------------|------------|------------|------------|
| 龍谷大学外国人（留学生）特別奨学金 | 月額 ￥22,500 | 6名 | 9名 |
| 文部科学省外国人留学生学習奨励費 | 月額 ￥48,000 | 0名 | 0名 |

2. 住居

留学生のための宿舎は3か所にあり、約190人が入居できます。これらの宿舎には、留学生寮レジデント・サポーターが入居し、生活・学習などについて助言します。またこの他の住居は龍谷大学生生活協同組合などで紹介しています。

留学生寮

住所

りゅうこく国際ハウス 京都市伏見区深草西浦町 4-38
 龍谷会館※ 京都市伏見区深草西浦町 2-95
 ミトラ館 京都市伏見区深草西浦町 4-10

| 設備 | | インターネット環境 | 机 | 椅子 | ベッド | エアコン | カーテン | 棚(本棚) | 冷蔵庫 | 電気スタンド | シャワー | バス | トイレ | 台所 | 食器棚 | ガスレンジ | 電子レンジ | オーブントースター | 駐輪場 | 洗面所 | IHコンロ | コインランドリー | 掃除機 |
|------------|----|-----------|---|----|-----|------|------|-------|-----|--------|------|----|-----|----|-----|-------|-------|-----------|-----|-----|-------|----------|-----|
| りゅうこく国際ハウス | 個室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 共用 | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 龍谷会館 | 個室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 共用 | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| ミトラ館 | 個室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | |
| | 共用 | ○ | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※龍谷会館は2025年3月末で閉館します。

収容数・寮費等

| 施設名 | 種別 | 収容数 | 保証金(退寮時返還) | 寮費(月額) | 光熱費 | 入寮期限 |
|------------|------|-----|------------|--------|--------|------|
| りゅうこく国際ハウス | シングル | 45 | 80,000 | 30,000 | 10,000 | 半年 |
| | ツイン | 90 | 50,000 | 18,000 | 6,000 | 半年 |
| 龍谷会館(男子寮) | シングル | 20 | 50,000 | 25,000 | 8,000 | 半年 |
| ミトラ館 | シングル | 40 | 100,000 | 40,000 | 10,000 | 半年 |

※予告なく変更となる場合があります。

※りゅうこく国際ハウス、ミトラ館は空室状況により延長可能。

3. 生活費

京都市での生活費は、住居費を含めて1か月に100,000円程度が必要です。従って、1年間の滞在資金計画を立てる際には、このことを十分念頭においてください。

4. 保険・医療費に関する制度

国民健康保険

日本に3か月年以上滞在する外国人は、国民健康保険に加入することが義務付けられています。加入に際しては保険料が必要となりますが、日本で医療機関にかかった場合、医療費の70%が国民健康保険によって補助されます。

V. 参考資料：日本語能力評価の方法について

【様式①-3】及び【様式②-1】の日本語能力評価については、ヨーロッパ外国語共通参照枠（CEFR）に準拠した言語の熟達度に沿って「A1～C2」で評価してください。（別紙「Common European Framework of Reference（CEFR）評価表」を参考にしてください。）

＜記入例＞

読むこと、書くことはA2レベルまででき、聞くこと、やりとり、表現はB1レベルまでできる場合。

| | 理解すること UNDERSTANDING | | 話すこと SPEAKING | | 書くこと WRITING |
|------------------------|-------------------------|-----------------|-------------------------------|----------------------------|-----------------|
| | 聞くこと Listening | 読むこと Reading | やり取り Spoken Interaction | 表現 Spoken Production | 書くこと Writing |
| 評価（A1～C2で 評価してください） | B1 | A2 | B1 | B1 | A2 |

【参考】

Common European Framework of Reference（CEFR）については、以下のサイトも参照してください。

- ・日本語版
https://jfstandard.jp/pdf/web_reference.pdf
- ・ヨーロッパ言語（31言語）版
<https://www.coe.int/en/web/portfolio/self-assessment-grid>
- ・中国語版
<https://www.hjenglish.com/xiazai/p361594/>

Common European Framework of Reference (CEFR) 評価表 (日本語版)

| | A1 | A2 | B1 | B2 | C1 | C2 |
|--------|--|---|--|--|--|--|
| 理解すること | はつきりとゆっくりと話しても、伝えられ、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに、関する聞き慣れた話やごく基本的な表現を聞き取れる。 | (ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの) 直接自分につながるものがある領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。 短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。 | 仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。 話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているのなら、時事問題や個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。 非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。 | 長い会話や講義を理解することができ、また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。 たいのみのテレビのニュースや時事問題の番組もわかる。 標準語の映画なら大多数は理解できる。 | たとえ構成がはつきりしなく、関係性が暗示されているにすぎず、明示的でない場合でも、長い話が理解できる。特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。 | 生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードで話されても、その話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話しことばも難なく理解できる。 |
| 読むこと | 例えば、掲示やポスター、カタログの中がよく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。簡単に短い個人的な手紙は理解できる。 | ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、簡単な日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。 | 単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。 通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。 | 筆者の姿勢や視点が出ている現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。 | 長い複雑な事案に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。自分の関連外の分野での専門の記事も長い技術的説明書も理解できる。 | 抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な、たとえばマニュアルや専門の記事、文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。 |
| やり取り | 相手がゆっくり話し、くり返したり、言い換えてくれたり、また自分が言いたいことを表現するの助けを出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。 直接必要なことやごく身近な話題について答えたりできる。 | 単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。 通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。 | 当該言語圏の旅行中に最も起りやすい状況に対処することができる。 たとえば、家族や趣味、仕事、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。 | 流暢に自然に会話をすることができ、母語話者と普通にやり取りができる。 身近なコンテキストの議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。 | ことばをことささら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。 社会上、仕事上の目的に合ったことば遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を精確に表現でき、自分の発言を上手に他の話し手の発言に合わせるができる。 | 慣用表現、口語体表現をよく知っていて、いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。 自分を流暢に表現し、詳細に細かい意味のニュアンスを伝えることができる。 表現上の困難に出会っても周りの人がそれにほとんど気がつかないほどに修正し、うまく繕うことができる。 |
| 話すこと | どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。 | 家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単なことばで一連の語句や文を使って説明できる。 | 自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができ、時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の意見を説明できる。 | 自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができ、時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の意見を説明できる。 | 複雑な話題を、派生的話題にも立ち入って、くわしく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。 | 状況にあった文体で、はつきりとするらずらと流暢に記述や論述ができる。効果的な論理構成によって聞き手に重要な点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。 |
| 書くこと | 新年の挨拶など短い簡単な手紙を書くことができる。例えばホテルの宿帳に名前、国籍や住所といった個人データを書き込むことができる。 | 直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。 短い個人的な手紙なら書くことができる。例えば礼状など。 | 簡単な方法で語句をつなぐことで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語るることができる。 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。 物語を話したり、本や映画のあらすじを話し、またそれに対する感想・考えを表現できる。 | 興味関心のある分野内なら、幅広くいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。 エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する指示や反対の理由を書くことができる。 手紙の中で事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。 | 複雑な話題を、派生的話題にも立ち入って、くわしく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。 複雑な話題を、派生的話題にも立ち入って、くわしく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。 | 明瞭な、流暢な文章を適切な文体で書くことができる。 効果的な論理構成で事情を説明し、その重要な点を読み手に気づかせ、記憶にとどめさせるように、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。 仕事や文学作品の概要や表書きことができる。 |

参考資料：Council of Europe (2018) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第二刷、吉高茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社

I. 龍谷大学留学生別科介绍

1. 龍谷大学简介

龍谷大学的前身为本願寺学堂，创建于 1639 年。目前已发展到拥有位于京都市及滋贺县大津市内的三个校区、10 个本科学院、1 个大专学院、10 个研究生院及留学生別科的综合性大学。在校学生约 20,000 名，其中包括来自世界各地的留学生约 650 名。

2. 留学生別科概要

留学生別科(JCLP)是为学习日语及日本文化而开设的学习期间为 1 年的教学课程。开设有日语科目以及涉及多方面的日本常识科目。

对于欲进入日本的大学、研究生院的留学生来说是非常理想的预备课程。

1. 特色

- (1) 日语科目每学期按日语能力编班授课。
- (2) 在下午开设介绍日本文化、社会的日本常识科目及特别讲义。
- (3) 日语科目中包含课外教学课程，借此可学习京都的传统文化和艺能。
- (4) 可以使用龍谷大学内的各种设施（图书馆、电脑室等）。
- (5) 有推荐进入本校本科学院、大专学院和部分研究生院的推荐入学制度。

请参照日語版 P1

2. 入学时期

入学时期是 4 月（第 1 学期）和 9 月（第 2 学期）。所开设的科目都是学期制，即分别在第 1 学期和第 2 学期启动新的教学计划。

3.课程介绍

(1) 开讲科目 (参考2024年度课程表)

| 学期 | 科目 | 科目名 | 学分 | 教学使用语言 | |
|----------------------|-------------------------------|--|--------|--------|---|
| 第1学期 | 必修科目 | 日语科目 | 日语A | 12 | |
| | | 选择必修科目 | 日本常识科目 | 日本の宗教A | |
| | 日本の歴史・文学A | | | 2 | |
| | 日本の歴史・文学A | | | 2 | |
| | 日本の社会・文化A | | | 2 | |
| | 日本の社会・文化A | | | 2 | |
| | 日本の科学技術A | | | 2 | |
| | 日本の経済・経営A | | | 2 | |
| | 日本の経済・経営A | | | 2 | |
| | 日本の武道・艺道A | | | 2 | |
| | 日本語概論A | | | 2 | |
| | 日本の法律・政治A | | | 2 | |
| | Japanese Religions A | | | 2 | |
| | Japanese Economy & Management | 2 | | | |
| | Japanese Law & Politics | 2 | | | |
| | 特别讲座 | Special Lecture 1A (RYUKOKU Criminology) | 2 | | |
| | | 特别讲座1A(围棋) | 2 | | |
| | | 特别讲座1A(N1对策) | 2 | | |
| | | 特别讲座1A(N2应用) | 2 | | |
| 特别讲座1A(N2基础) | | 2 | | | |
| 特别讲座1A(日本留学考试) 日语 | | 2 | | | |
| 特别讲座1A(日本留学考试) 综合 | | 2 | | | |
| 特别讲座1A(日本文化入门1) | 2 | | | | |
| 特别讲座2A(汉字1) | 1 | | | | |
| 第2学期 | 必修科目 | 日语科目 | 日语B | 12 | |
| | | 选择必修科目 | 日本常识科目 | 日本の宗教B | 2 |
| | 日本の歴史・文学B | | | 2 | |
| | 日本の歴史・文学B | | | 2 | |
| | 日本の社会・文化B | | | 2 | |
| | 日本の社会・文化B | | | 2 | |
| | 日本の科学技術B | | | 2 | |
| | 日本の経済・経営B | | | 2 | |
| | 日本の経済・経営B | | | 2 | |
| | 日本の武道・艺道B | | | 2 | |
| | 日本語概論B | | | 2 | |
| | 日本の法律・政治B | | | 2 | |
| | Japanese Religions B | | | 2 | |
| | Japanese Media & Arts | 2 | | | |
| | Japanese Society | 2 | | | |
| | Japanese Technology | 2 | | | |
| | Japanese Pop Culture | 2 | | | |
| | 特别讲座 | Special Lecture1B (Postcolonialism) | 2 | | |
| | | 特别讲座1B(围棋) | 2 | | |
| | | 特别讲座1B(N1对策) | 2 | | |
| 特别讲座1B(N2应用) | | 2 | | | |
| 特别讲座1B(N2基础) | | 2 | | | |
| 特别讲座1B(日本留学考试) 日语 | | 2 | | | |
| 特别讲座1B(日本留学考试) 综合 | | 2 | | | |
| 特别讲座1B(日本文化入门1) | | 2 | | | |
| 特别讲座2B(汉字1) | 1 | | | | |
| 特别讲座1B(和龙大生的共同课题的学习) | 2 | | | | |

屡修注意事项

- 1 日语A和日语B, 合计24学分为必修科目。请务必选修。
- 2 请务必从选择必修科目(日本常识科目及特别讲座) 中选修合计8学分。
- 3 同一科目名, 若任课老师不同, 可以同时选修登录2门以上科目。
- 4 同一任课老师的相同内容的科目不可以重复登录。若授课内容不同可以重复登录。
- 5 请务必确认好教学大纲, 教学内容后进行课程登录。

(2) 科目内容

日语科目：按学期初分班考试的成绩，编班授课。

日本常识科目：为了解日本历史、文学、社会、经济而开设的科目。由本校各院系教师授课。

特别讲义：日本文化入门课程及日语能力考试对策课程等。

(3) 课程表 (参考2024度第1学期) 有变更的可能

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---------------|---------------|------------------------------|----------------------|--|
| | 科目名 | 科目名 | 科目名 | 科目名 | 科目名 |
| 月 | 日语A 别科3(视听讲) | 日语A 别科3(视听讲) | 特别讲义1A JLPT(N2基础) | 特别讲义1A(日本留学考试对策「日语」) | |
| | 日语A 别科4(视听讲) | 日语A 别科4(视听讲) | 特别讲义1A(日本留学考试对策「综合科目」) | 日本的历史·文学A | |
| | 日语A 别科5(视听讲) | 日语A 别科5(视听讲) | Japanese Economy& Management | | |
| 火 | 日语A 别科3(读解) | 日语A 别科3(读解) | 日语A 别科3(文法) | 特别讲义2A 汉字1 | |
| | 日语A 别科4(读解) | 日语A 别科4(读解) | 日语A 别科4(文法) | 日本的经济·经营A | 日本的社会·文化A |
| | 日语A 别科5(读解) | 日语A 别科5(读解) | 日语A 别科5(文法) | 日本的历史·文学A | |
| 水 | 日语A 别科3(综合) | 日语A 别科3(综合) | 特别讲义1A JLPT(N2实践篇) | 日本的武道·艺道A | Special Lecture1A(Ryukoku Criminology) |
| | 日语A 别科4(综合) | 日语A 别科4(综合) | 特别讲义1A JLPT(N1对策) | | |
| | 日语A 别科5(情景对话) | 日语A 别科5(情景对话) | 日本的社会·文化A 日本的经济·经营A | | |
| 木 | 日语A 别科3(综合) | 日语A 别科3(综合) | 特别讲义1A (围棋) | 日本的宗教A | 日本的语言A |
| | 日语A 别科4(综合) | 日语A 别科4(综合) | 特别讲义1A (日本文化入门) | | 日本的科学技术A |
| | 日语A 别科5(口语) | 日语A 别科5(口语) | Japanese Law & politics | | |
| 金 | 日语A 别科3(文章表现) | 日语A 别科3(文章表现) | 日语A 别科3-4(HR) | 日本的法律·政治A | |
| | 日语A 别科4(文章表现) | 日语A 别科4(文章表现) | 日语A 别科5(文章表现) | Japanese Religions A | |
| | 日语A 别科5(HR) | 日语A 别科5(文章表现) | | | |

4. 修业年限及结业

留学生别科的修业年限是1年。在别科学习的1年期间，修得日语A和日语B(必修科目)

24学分及日本常识相关科目、特别讲义(选修科目)8学分，共计32学分者，可取得结业资格。

5. 校历 (2024年度)

| | 第1学期 | 第2学期 |
|--------|------------|------------------------|
| 开学式 | 4月2日 | 9月18日 |
| 新生入学指导 | 4月1~8日 | 9月9~18日 |
| 授课开始 | 4月9日 | 9月19日 |
| 考试期间 | 7月30日~8月6日 | 1月22~25日、1月27~28日、2月1日 |
| 结业式 | 9月18日 | 3月18日 |

II. 招生简章

1. 招生人数

留学生别科定员：40 名

招生人数：9 月入学、4 月入学 各 20 名左右

2. 报考资格

必须满足下列任意一项条件：

1. 在日本国外已接受 12 年的正规教育，或预定于本校入学日的前一个月毕业，或获得日本文部科学大臣指定的具有同等学力者。
2. 在日本文部科学大臣指定的日本国外教育机构，完成与高中同等课程的相关课程者，或预定于本校入学的前一个月完成者。
3. 已达到相当于日本高中毕业的年龄，并被我校认定具有高中以上学力者。

关于日语能力，必须满足以下的任意一项。到报名时为止：

- 1) 日语学习时间数达到 300 小时以上
- 2) 取得日本語能力考试 N4 以上的合格者

※在日本的其他日本語教育机构学习一年以上（留学生别科入学日为止）者，没有报名资格。

3. 关于保证人和经费支付者

日本国内居住者和日本国外居住者皆可当保证人或经费支付者。

同一个人也可兼任保证人及经费支付者。

| | |
|---------|---|
| (保 证 人) | 负责监督报考者在学期间的一切行为。保证人兼当经费支付者时必须负担报考者在学期间的一切费用。指导报考者遵守日本法律和大学规章，督促其专心学习，不从事留学目的以外的活动。 |
| (经费支付者) | 负责报考者在学期间的一切费用。 |

4. 报名期限

9月入学 2024年4月1日（星期一）～ 2024年5月6日（星期一）〈逾期无效〉

4月入学 2024年9月10日（星期二）～ 2024年9月27日（星期五）〈逾期无效〉

5. 报名方法

用以下邮寄方法报名。所有资料必须在报名截止日为止寄到本校。

【日本国内邮寄方法】：用 **書留速達郵便** 邮寄

【日本国外邮寄方法】：用国际特快专递（EMS）等能快速准确投递的方式邮寄

邮寄地址： 〒612-8577

日本国京都府京都市伏見区深草塚本町 6 7

龍谷大学留学生別科 留学生別科入試係

6. 报名费 15,000 日元

报名费缴纳后，任何理由都不予退款。

【从日本国内缴纳时】

通过金融机构汇款

汇款时请使用我校指定的「受験料振込依頼書」。请务必在「受験料振込依頼書」和「出願用領収書」上，写明报名者姓名和汇款人姓名。并将「出願用領収書」贴在入学申请书中的指定处。

【从日本国外缴纳时】

付款方式如下：

① 通过金融机构汇款

必须以日元汇往我校指定的银行，其他币种不予受理。汇款所需的手续费由汇款人支付。除了汇款人国内银行手续费外，还需要加算日本国内银行手续费1,500日元，共计16,500日元。

报名费不足时，不予受理！由于报名费不足导致报名无效时，已交款项不予退款。

此外，日本国内银行手续费少于1,500日元时，余额不予退款。

汇款后，请将印有银行受理章的汇款单或复印件贴在入学申请书中的指定处。

| | | |
|------------------------|----------------------|-------------------------|
| 国内银行的手续费 ↓ | | 日本银行的手续费 (1,500日元) ↓ |
| ① | ② 留学生别科的报名费 15,000日元 | ③1,500日元 |
| 汇向日本的金额 16,500日元 (②+③) | | |
| 您的支付金额 (①+②+③) | | |

銀行名：三菱 UFJ 銀行 京都駅前支店 (TEL:81-(0)75-371-2171)

銀行地址：京都府京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町 614

銀行 SWIFT CODE: BOTKJPJT

銀行 CODE: 0005-434

預金種類：普通預金

账户号码：3033997

账户名义：学校法人龍谷大学

※ 请务必使用报名者的姓名和地址办理汇款手续。银行信息的英文标记，请参照报名须知英文版。

② 通过Flywire汇款

请接续ryukoku-globe-app.flywire.com，或扫描右下方的二维码，并按以下步骤完成报名费的支付。

1. 选择支付人所在国家 2. 选择支付方法 3. 输入支付人信息 4. 输入报名者信息 5. 按提示完成汇款

交款期限为报名截止日的23点59分00秒（日本时间）。



7. 报名时的注意事项

1. 日语和英语以外的资料，须附上日语或英语的翻译件。
2. 报名资料如有虚假记载或有缺漏将丧失报名资格。
3. 合格发表后，如发现报名资料及入学手续的资料有虚假记载时，将取消其录取资格。
4. 入学后，如发现报名资料及入学手续的资料有虚假记载时，将对其开除学籍或勒令退学。

8. 报名资料

※注意：提交前请各自保留入学申请书的复印件，申请留学签证时有可能需要提交。

(1) 入学申请书（我校规定格式）表格①

所有栏目必须由报名者本人亲笔填写。

(2) 成绩证明和毕业证明

请按以下要求提交毕业校等教育机关颁发的原件。

【最终学历是高中毕业生】

尚在高中就学者

- ① 高中的毕业预定证明
- ② 高中的成绩证明（在学期间各学年的成绩证明）

※入学是以高中毕业为前提条件，截至本校入学式为止必须提交毕业证明

高中毕业生

- ① 高中的毕业证明
- ② 高中的成绩证明（在学期间各学年的成绩证明）

【最终学历是大学毕业生】

尚在大学就学者

- ① 高中的毕业证明
- ② 高中的成绩证明（在学期间各学年的成绩证明）
- ③ 大学的成绩证明（在学期间各学年的成绩证明）
- ④ 大学的在学证明

大学毕业并取得学士学位者

- ① 学位证明或学位证的正本
- ② 大学的毕业证明或毕业证的正本
- ③ 大学的成绩证明（在学期间各学年的成绩证明）

大学毕业未取得学士学位者

- ① 高中的毕业证明
- ② 高中的成绩证明（在学期间各学年的成绩证明）
- ③ 大学的毕业证明或毕业证的正本
- ④ 大学的成绩证明（在学期间各学年的成绩证明）

(3) 日语能力认定书（我校规定格式）表格②

- ① 由有资格对日语能力做评定的日语教师等填写。
- ② 自学者只需填写「日本語能力認定書」的「1. 志願者氏名」「4. 出願時における日本語能力評価」「5. 日本語学习方法」「6. 使用した教科書」「7. 出願時における日本語学習時間状況」栏目。
- ③ 有参加「日本語能力試験」（財団法人日本国際教育支援協会）或「日本留学試験」（日本学生支援機構）的「日本語」科目考试者，请提交成绩通知。

(4) 自我介绍的视频（可选择使用其中一种媒体提交 DVD-R、SD 卡、USB）

视频内容：由报名者本人用日语，先介绍自己的姓名和出生地，再回答以下 3 个问题，录制 3 分钟左右的视频。录制时请不要阅读原稿，而是以回答面试官的形式进行陈述。

- ① 关于自己的履历（学习经历、目标、理想等）
- ② 进入留学生别科后的目标
- ③ 对于将来升学或就职等的计划

※请使用 MPEG 视频格式（推荐使用 MP4）（如果使用别的视频格式有可能需要重新提交）。禁止使用编辑过的视频。

※有明确规定不用使用国际快递邮寄视频媒体的地区，请发电子邮件至 inbound.r-globe@ad.ryukoku.ac.jp 咨询。

(5) 留学生别科志望理由书（我校规定格式）表格③

务必由报名者本人亲笔用日语填写。

(6) 有关经费支付的证明资料

请按要求提交以下资料

【本国经费支付者】

※必须以经费支付者的名义出具①②的相关证明

① 存款证明 * 请提交原件

预定留学生别科修了后回国者，必须提交别科在学期间所需的学费和生活费（每月 100,000 日元以上）的存款证明。留学生别科修了后欲升入日本的大学或研究生院者，还需提交下一年度的学费和生活费的存款证明。

② 在职证明

必须写明年收入状况，内容必须是能证明①的财产形成的证明。

③ 经费支付者与报名者的关系证明

户口簿复印件、亲属关系公证书，任选其一。

④ 承担费用的理由书·誓约书（本校的规定格式）表格④

由经费支付者亲笔填写（用中文填写时请附上翻译件）

【在日居住经费支付者】

① 在职证明书

私人企业者可提交注册腾本或营业许可书或确定税金申告的复印件。

② 所得证明书

公司职员、公务员等提交源泉徴收票。此外，可提交年收入证明书。

③ 住民票

经费支付者为外国人时，住民票的记载内容必须包括：「国籍」「在留资格」「在留期间」「在留期间の满了日」「在留カード番号」。

※关于家庭成员的记载，可自由选择「世帯全員」或「世帯一部」。

④ 经费支付者与报名者的关系证明

经费支付者与报名者是亲属关系的情况下，请在户口簿复印件、住民票、亲属公证书中任选一项提交。是朋友关系的情况下，请提交与报名者的关系说明书、合影的相片等。

⑤ 承担费用的理由書・誓約書（本校规定的格式）表格④

由经费支付者亲笔填写（用中文填写者请附上翻译件）

【报名者为经费支付者时】

※必须以报名者本人的名义出具①②的相关资料。

① 存款证明 *请提交原件

预定留学生别科修了后回国者，必须提交别科在学期间所需的学费和生活费（每月 100,000 日元以上）的存款证明。留学生别科修了后欲升入日本的大学或研究生院者，还需提交下一年度的学费和生活费的存款证明。

② 在职证明

写明年收状况，内容必须是能证明①的财产形成的证明。

【领取奖学金时】

① 提交由奖学金颁发机构出具的证明资料

所提交的证明资料中，必须写明奖学金的金额、颁发期间及颁发机关。

（7）保证人需出具的证明书

请按以下要求提交资料

【本国保证人】

① 身份保证书（本校规定的格式）表格⑤

② 身份保证的详细理由书（本校规定的格式）表格⑥

由保证人亲笔填写（用中文填写时请附上翻译件）

【在日居住保证人】

① 身份保证书（本校规定的格式）表格⑤

② 身份保证的详细理由书（本校规定的格式）表格⑥

③ 在职证明书（*保证人与经费支付者不同的情况下提交）

私人企业者可提交注册腾本或营业执照或纳税申告表的复印件。

④ 住民票（*保证人与经费支付者不同的情况下提交）

保证人为外国人时，住民票的记载内容必须包括：「国籍」「在留资格」「在留期间」「在留期间的满了日」「在留カード番号」。

※关于家庭成员的记载，可自由选择「世帯全員」或「世帯一部」。

(8) 照片

请提交 5 张照片（竖 4cm×横 3cm 近期 3 个月以内的正面脱帽，无背景照片）。1 张贴在申请书上，其余 4 张放在信封里与报名资料一起提交。照片背面写上报名者的姓名。

(9) 护照复印件

护照的照片页的复印，有日本的出入国经历者还需提交记载出入国记录页的复印。

(10) 在留资格认定证明书的代理申请及誓约书（需要大学代理申请者请提交）表格⑦

大学可代理申请『在留资格认定证明书』。详细内容请阅读【III 有关在留资格申请手续】（参照 P. 26~P. 27），并提交相关资料。

9. 选考方法及选考结果

1. 选考方法

以所提交的报名资料进行选考。必要时将实施以下①②事项，综合各方面判断之后决定合格与否。

①对于报名者的确认

日本国内居住者：以电话确认报名者本人及日语学习状况等 ※必要时会要求来校面谈

日本国外居住者：以电话确认报名者本人及日语学习状况等

②对于保证人、经费支付者的确认

日本国内居住者：以电话确认保证人、经费支付者的意愿 ※必要时会要求来校面谈

日本国外居住者：以电话确认保证人、经费支付者的意愿

※ 电话访问时，必须由报名者本人、保证人本人、经费支付者本人进行答弁。在日居住的报名者、保证人、经费支付者，被要求来校面谈时，请务必履行。

2. 选考结果

选考结果发送日

9月入学 2024年6月上旬

4月入学 2024年11月上旬

※选考结果的发送，将使用电子邮件发送至报名者的电子邮箱。如果发生电子邮件发送失败等，也会采用邮递方式寄送。

※谢绝电话及电子邮件咨询。

10. 入学手续

被录取者将收到录取通知书等入学材料以及入学须知。收到通知书后请在规定的期限内办理入学手续。

1. 入学时所缴纳的金额（有变动的可能）

| | |
|---------------------|-------------------|
| 入学金 | 50,000 日元 |
| 学费（1 学期・半年） | 243,500 日元 |
| 合计（入学时需付的金额） | 293,500 日元 |

※入学时所缴纳的费用中包含入学金 50,000 日元，入学金一旦缴纳概不退还。

※通过Flywire汇款者，选考结果发表后，会将缴纳方法另行通知合格者。

※通过银行进行境外汇款者，必须加算日本银行手续费1,500 日元，并在截止日前汇进指定银行账户。

※请保管好汇款收据。办理入学辞退、退还学费的手续时必须提交。

2. 入学手续期限（逾期不受理）

9月入学 2024年6月13日（星期四）逾期不受理

4月入学 2024年11月14日（星期四）逾期不受理

11. 学费

2025 年 4 月（春季学期）的学费有可能另行调整。

1. 入学金：50,000 日元

2. 学 费：487,000 日元（2 学期・1 年）

第 1 学期的学费，在入学手续期限内缴纳。第 2 学期的学费入学后按指定的日期缴纳。

3. 教科书：入学后，需购买 5,000 日元左右的教科书。

12. 入学辞退

完成所有入学手续之后，由于日本出入国在留管理局不签发「在留资格认定证明书」或因考入其他大学等需要办理入学辞退者，请在以下申请截止日之前提交入学辞退申请（本校指定格式），除入学金 50,000 日元不予退还外，入学时所缴纳的其他费用可退还本人。

提出入学辞退者将收到申请方法的说明及申请表。办理手续需花费时间，请在申请期间内尽早提出申请，逾期不受理。

入学辞退・退还学费的申请截止日：

9月入学:2024年9月10日（星期二）逾期不受理

4月入学:2025年3月25日（星期二）逾期不受理

III. 有关取得在留资格的申请手续 (请在报名前熟读)

来日留学原则上必须取得「留学」的在留资格。报名者在获得「入学许可书」后，必须向日本出入国在留管理局申请「在留资格认定证明书」。

1. 持有其他签证在日本居住者

1. 已持有「留学」签证者，请自行到出入国在留管理局办理「在留期间更新」及「所属机关变更」手续。
2. 持「日本人配偶者」、「定住者」等签证在日本居住者，无需办理在留资格变更手续。但不能享受留学生待遇。
3. 上述签证以外者，请事先到出入国在留管理局咨询。

2. 海外居住者

获得「入学许可书」后，必须向日本出入国在留管理局申请「在留资格认定证明书」。取得「在留资格认定证明书」后，持「在留资格认定证明书」和「入学许可书」到驻贵国的日本领事馆等申请「留学」签证。申请程序如下：

1. 申请「在留资格认定证明书」

获得「入学许可书」后，到日本国内的出入国在留管理局申请「在留资格认定证明书」。本人无法申请时，可由代理人申请。代理人必须具备以下条件：

| 代理人 | 申请地点 |
|----------|---------------------------------------|
| ①龍谷大学 | 大阪出入国在留管理局京都出張所 |
| ②奖学金支付团体 | |
| ③在日经费支付者 | 大阪出入国在留管理局京都出張所或代理申请者所在地管辖的地方出入国在留管理局 |
| ④在日亲属 | |

2. 由龍谷大学代理申请

(1) 需要大学代理申请者必须具备以下条件

希望进入本校留学生别科学习的自费外国人留学生，并符合以下任意一项条件者：

- ①有能力支付在日留学的一切费用，并能提出指定证明资料者。
- ②所获奖学金的金额足够支付在日留学的一切费用者。

(2) 提交代理申请的申请书

希望由本校代理申请者须提交本校规定的格式「代理申請願出書」。由校方决定是否代理申请。是否代理申请及申请结果如何，申请者不可对本校有任何非议。报名资料不齐全者不予受理。代理申请的在留资格种类仅限「留学」。

(3) 代理申请的顺序

- ① 合格发表后，合格者必须在指定期限内完成入学手续。
- ② 在确认入学手续已完成之后，进行代理申请。
- ③ 取得「在留资格认定证明书」后，和「入学许可书」一起寄给本人。在留资格不被批准者，本校也将其结果通知本人。

(4) 所需资料 (除②以外，请在报名时提交)

| 提交资料 | 注意事项等 |
|------------------|-----------------------------------|
| ①代理申请志愿书 | 本校规定格式 |
| ②在留资格认定证明书交付申请书 | 本校在确认申请者完成入学手续后，以报名材料为基准代笔填写申请书。 |
| ③照片1张(竖4cm×宽3cm) | 3个月以内拍的正面，脱帽，无背景照片。已包含在前述提交5张照片中。 |

注意：根据日本法务省出入国在留管理局的有关规定，必要时有可能被要求追加提交能充分证明经费支付能力等的材料。

3. 奖学金颁发团体、日本在住的经费支付者、亲属等的代理申请

奖学金颁发团体可在大阪出入国在留管理局京都出張所，在日经费支付者、亲属可在居住地管辖的出入国在留管理局或大阪出入国在留管理局京都出張所提交代理申请资料。详细资料和手续请向出入国在留管理局咨询。

关于在留资格的咨询

外国人在留资格手续咨询中心 (大阪)

大阪出入国在留管理局

大阪市住之江区南港北1-29-53 TEL: 0570-013904 国外: 03-5796-7112

(除日语外，还可使用英语、韩语、西班牙语、中国语等咨询)

关于在留资格认定证明书交付申请的咨询

京都府 大阪出入国在留管理局京都出張所

京都市左京区丸太町川端東入ル東丸太町 34-12

京都第2地方総合庁舎4楼 TEL: 075-752-5997

大阪府 大阪出入国在留管理局

大阪市住之江区南港北1-29-53 TEL: 06 (4703) 2100

奈良县 大阪出入国在留管理局奈良出張所

奈良市東紀寺町3-4-1 奈良第二法務総合庁舎内 TEL: 0742-23-6501

滋贺县 大阪出入国在留管理局大津出張所

大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6階 TEL: 077-511-4231

IV. 大学生活

1. 奖学金

为留学生别科生提供龍谷大学的「外国人（留学生）特别奨学金」（月額 22,500 日元）和日本学生支援机构的「自费外国人留学生学习奨励費」※（月額 48,000 日元）的两种奖学金。提供给成绩・品行 优秀的学生。

※留学生别科的「自费外国人留学生学习奨励費」为不定期评选。有的年度不进行评选。

请参照日语版 P13。

2. 宿舍

留学生宿舍共有 3 处，大约可入住 150 人。各宿舍都有生活辅导员指导留学生的生活和学习。留学生宿舍以外的租房信息可咨询龍谷大学的「生活協同組合」等。

各宿舍的具体介绍，请参照日语版 P13~14。

3. 生活费

大多数留学生在京都，每月所需生活费为 10 万日元左右。计划滞留 1 年者，须充分准备好所需费用。

4. 有关保险及医疗费制度

国民健康保险

在日本滞留 3 个月以上的外国人，有义务加入国民健康保险。加入该保险后需缴纳保险费，但是到日本医疗机构看病时，医疗费费的 70% 由国民健康保险负担（个人只负担 30%）。

V. 参考资料：日语能力评价方法

【指定格式①-3】【指定格式②-1】的日语评价方式是使用欧洲共同语言参考标准（CEFR），就语言的熟练程度分成「A1～C2」各阶段进行评价。（请参照「Common European Framework of Reference (CEFR) 评价表」）

〈填写例〉

阅读・写作达到 A2 水平，听力・口语互动・表现达到 B1 水平时的填写例如下：

| | 理解能力 | | 会话能力 | | 写作能力 |
|-------------------|------|----|------|----|------|
| | 听力 | 阅读 | 口语互动 | 听力 | 听力 |
| 评价（在 A1～C2 范围内选择） | B1 | A2 | B1 | B1 | A2 |

【参考】

Common European Framework of Reference (CEFR) 评价标准的说明，可参照以下网页

●日语

https://jfstandard.jp/pdf/web_reference.pdf

●欧洲各种语版（31种）

<https://www.coe.int/en/web/portfolio/self-assessment-grid>

●中文

<https://www.hjenglish.com/xiazai/p361594/>

欧洲语言共同参考框架测评表

| | A1 | A2 | B1 | B2 | C1 | C2 |
|---------------|---|---|--|--|---|--|
| | 如果说话人语速慢，口齿清楚，我能听懂关于自己、家庭以及我身边具体环境的熟悉词语和非常通用的表达法。 | 我能听懂与自己有密切关联的表达法和常用词汇，例如自己和家庭的情况、购物、周边环境、工作等。能理解简短、清楚的通知和留言的主要内容。 | 如果谈论的是工作中、学校里和休闲时遇到的熟悉主题，而且讲话清楚、标准，我能听懂要点。在语速比较慢并且清楚的情况下，我能听懂很多广播电视新闻节目的主要内容，以及其他自己感兴趣的个人话题或有关工作的主要内容。 | 我能听懂较长的报告和演讲。如果是自己比较熟悉的主题，我甚至能听懂复杂的论证。我能听懂大部分的电视新闻节目，能看懂大部分标准外语电影。 | 我能听懂长篇大论，虽然演讲的结构不好，上下文的衔接也很含蓄。我能比较轻松地看懂电视节目和电影。 | 能很好地理解生活中的或是广播中的任何口语表达，包括讲本族语人的说话速度。对带口音的口语，经过一段时间后也会熟悉。 |
| 【理解】 | | | | | | |
| | 我能读懂通知、布告和产品目录中的常用名词和简单句子。 | 我能阅读非常简短的文章。能在诸如广告、宣传手册、菜单和时刻表等日常阅读材料中找出可预知的特定信息。能读懂简短的私人信件。 | 我能读懂主要用日常语言写的或者是与自己的工作有关的文章。能读懂私人信件中讲述事情、情感和愿望的内容。 | 我能阅读有关当代问题的文章和报告，其中的一些作者立场独特，有一定的思想。我能看懂现代散文体的文学文章。 | 我能看懂长篇复杂的写实性或文学性文章，并能鉴赏其不同的文学风格。我能看懂专业论文和较长的技术说明书，即使内容不属于本人的专业领域也无碍。 | 我能轻松阅读各类文章，无论其内容和形式是抽象或是复杂的，如教材、专业论文或者文学作品等。 |
| 读 | | | | | | |
| | 如果对话者愿意重复，或者愿意以更慢的速度改述，如果对话人能就我想说的帮助我表达，我则可以进行简单的交际。我能就我熟悉的话题或切身需求的话题提问和作答。 | 我能在只需简单和直接交流的活动，就熟悉的主题和任务进行交际。即使不能完全听得懂，难以持续交谈的情况下，我也能完成简短的沟通。 | 我能在目的语国家和地区旅游时，用所学语言应对遇到的大部分情况。我能在无准备的情况下谈论我熟悉的、自己感兴趣的和日常生活的话题，例如家庭、休闲、工作、旅游、时事等。 | 我的口语表达已达到一定程度的自如流畅，足以同本族语的人进行正常的互动交流。我能在熟悉的环境下积极参与讨论，发表和捍卫自己的观点。 | 我能自如、流利地讲话，几乎不需刻意地寻找词语。能在社会和职业交往中灵活运用地应用语言，精确表达自己的思想和观点，并能有机地继续谈话者的话题。 | 我能轻松参与任何会话与讨论，非常熟悉各种口语和惯用语。表达流利、精确，能传达语义的细微差别。遇到困难，会灵活补救，其做法几乎不为人所察觉。 |
| 口语会话 | | | | | | |
| | 我能用简单的表达法和句子描述自己的居住地和我认识的人。 | 我能用一连串的句子或表达法描述自己的生活状况、本人学历，以及自己目前或最近的工作。 | 我能简单地讲述自己的经历、自己的梦想、希望或目标。能简单阐述自己的观点和个人打算，并做出解释和说明。我能讲述一本书的故事内容、一部电影的情节并发表个人的看法。 | 对自己感兴趣的广泛话题，我能清楚、详尽地发表自己的看法。我能就时事主题阐述自己的观点，并能对各种可能性陈述其利弊。 | 对自己感兴趣的广泛话题，我能清楚地发表自己的看法。我能就时事主题阐述自己的观点，并能对各种可能性陈述其利弊。 | 我能以适时的语气明确而流畅地展开叙述或论述，讲话有逻辑，并能帮助听众注意和记住重点。 |
| 连贯口语表达 | | | | | | |
| | 我能写简单的明信片，如有关度假的。填写调查表时，我能详细写明本人情况。填写酒店登记卡时，我会写本人姓名、国籍和地址。 | 我能写简短的便条和留言。会写很简单的私人信件，如感谢信等。 | 我能就自己熟悉的或感兴趣的主题写出有逻辑的简短文章。会写私人信件，叙述自己的经历和感受。 | 我能就自己感兴趣的广泛话题写出清楚和详细的文章。我会写评论和报告，传达信息，或者就某一观点提出赞同或反对的理由。我会写能充分反映自己对相关事件和经历有所看法的信件。 | 我能写出观点明确、结构完整的文章，知道阐释自己的观点。在书信、评论或报告中，我能就复杂的主题，提出自己认为重要的观点，并能根据受众对象采用相应的写作风格。 | 我能写出清楚、流畅和文风相宜的文章。我写的信件、报告和有一定难度的文章结构清楚，能使读者抓住并记住要点。我能对专业著作获文学作品进行书面综述和评论。 |
| 【写】 | | | | | | |

I . RYUKOKU UNIVERSITY

JAPANESE CULTURE AND LANGUAGE PROGRAM

1. RYUKOKU UNIVERSITY

Ryukoku University was established in 1639, as a seminary of Nishi Hongwanji Temple. Today the university has 9 Faculties, a Junior College, 10 Graduate Schools, and the Japanese Culture and Language Program (JCLP), distributed among two campuses in the city of Kyoto and one in Shiga Prefecture. Among the approximately 20,000 undergraduate and graduate students, there are approximately 650 international students from many countries around the world.

2. JCLP

The Japanese Culture and Language Program (JCLP) is a one-year intensive course, centered on the Japanese language and a variety of Japanese affairs. It is ideal for students with an interest in Japanese language and culture, or those preparing for entry into a Japanese university.

1. Features of JCLP

- (1) Students are evaluated on their Japanese language proficiency every semester and then placed into a suitable Japanese language class based on their proficiency.
- (2) There are various elective subjects in the afternoon such as Japanese culture, society, etc.
- (3) Students can learn about Kyoto's traditional culture and entertainment through activities outside the classroom.
- (4) Students have access to all facilities available to regular Ryukoku students.
- (5) Recommendation for acceptance into the Ryukoku Graduate Schools, Faculties and the Junior College is specially available for students of strong merit in the JCLP program. (cf p.1)

2. Program Inauguration

The program begins in April (1st Semester) and September (2nd Semester). You can start from either semester to complete your one-year program.

3. Curriculum Contents

(1) LCLP Curriculum 2024 (Sample- Contents are subject to change)

| Semester | Subject Type | Subject Name | Credits | Language | |
|---|--------------------------------------|------------------------------------|--|----------|----------|
| SEMESTER 1 (SPRING) | COMPULSORY | Japanese Language A for all levels | 12 | Japanese | |
| | ELECTIVE | JAPANESE | Japanese Religions A (J) | | 2 |
| | | | Japanese History & Literature A (J) | | 2 |
| | | | Japanese History & Literature A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Society & Culture A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Society & Culture A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Science & Technology A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Economics & Business Administration A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Economics & Business Administration A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Martial Arts & Theater A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Language A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Law & Politics A (J) | | 2 |
| | | | Japanese Religions A (E) | | 2 |
| | | | Japanese Economy & Management (E) | | 2 |
| | | | Japanese Law & Politics (E) | 2 | |
| | SUBJECTS | SPECIAL LECTURES | Special Lecture 1A (RYUKOKU Criminology) (E) | 2 | English |
| | | | Special Lecture 1A (IGO) (J) | 2 | |
| | | | Special Lecture 1A (JLPT Level N1) (J) | 2 | Japanese |
| | | | Special Lecture 1A (JLPT Level N2) (J) | 2 | |
| | | | Special Lecture 1A (JLPT Level N2 basic) (J) | 2 | |
| Special Lecture 1A (EJU) Japanese Language Focus (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 1A (EJU) Comprehensive Focus (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 1A (Introduction to Japanese Culture) (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 2A (KANJI 1) (J) | 1 | | | | |
| SEMESTER 2 (FALL) | COMPULSORY | Japanese Language B for all levels | 12 | Japanese | |
| | ELECTIVE | JAPANESE | Japanese Religions B (J) | | 2 |
| | | | Japanese History & Literature B (J) | | 2 |
| | | | Japanese History & Literature B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Society & Culture B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Society & Culture B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Science & Technology B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Economics & Business Administration B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Economics & Business Administration B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Martial Arts & Theater B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Language B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Law & Politics B (J) | | 2 |
| | | | Japanese Religions B | | 2 |
| | | | Japanese Media & Arts | | 2 |
| | | | Japanese Society | 2 | |
| | Japanese Technology | 2 | | | |
| | Japanese Pop Culture | 2 | | | |
| | Special Lecture 1B (Postcolonialism) | 2 | | | |
| | SUBJECTS | SPECIAL LECTURES | Special Lecture 1B (IGO) (J) | 2 | Japanese |
| | | | Special Lecture 1B (JLPT Level N1) (J) | 2 | |
| Special Lecture 1B (JLPT Level N2) (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 1B (JLPT Level N2 basic) (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 1B (EJU) Japanese Language Focus (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 1B (EJU) Comprehensive Focus (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 1B (Introduction to Japanese Culture) (J) | | | 2 | | |
| Special Lecture 1B (Project-based Learning with Ryukoku Students) | | | 2 | | |
| Special Lecture 2B (KANJI 1) (J) | 1 | | | | |

Important! When Registering for Classes!

1. Japanese A and Japanese B, 24 credits in total, are required courses. Please be sure to take them.
2. Students must take a total of 8 credits from the required elective courses (Japan-Related Lectures and Special Lectures).
3. You can register for subjects with the same name if the instructors are different.
4. Courses by the same instructor with identical content can not be registered for twice, but registration is possible if the course content is different.
5. Please be sure to check the syllabus before registering for courses.

(2) Class Contents

Japanese Language: Based on the Placement Test results (which students will take upon entry into the course), students will be assigned a class most suitable to their level.

Japanese Culture and Technology: These subjects enable students to acquire a better understanding of Japanese history, literature, society, economy, etc. These classes are taught by regular faculty instructors.

Special Lectures: There is a Japanese Language and Proficiency Test preparatory class, an Introduction to Japanese Culture class, etc.

(3) Sample Weekly Class Schedule 2024 (1st Semester)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------|--|--|--|---|--|
| | SUBJECTS | SUBJECTS | SUBJECTS | SUBJECTS | SUBJECTS |
| MON | Japanese Language A JCLP3 (Listening Through Videos) Japanese Language A JCLP4 (Listening Through Videos) Japanese Language A JCLP5 (Listening Through Videos) | Japanese Language A JCLP3 (Listening Through Videos) Japanese Language A JCLP4 (Listening Through Videos) Japanese Language A JCLP5 (Listening Through Videos) | Special Lecture 1A JLPT (Level N2 basic) Special Lecture 1A (EJU) Japanese Economy & Management (E) | Special Lecture 1A (EJU [Japanese]) Japanese History & Literature A | |
| TUE | Japanese Language A JCLP3 (Reading) Japanese Language A JCLP4 (Reading) Japanese Language A JCLP5 (Reading) | Japanese Language A JCLP3 (Reading) Japanese Language A JCLP4 (Reading) Japanese Language A JCLP5 (Reading) | Japanese Language A JCLP3 (Grammar) Japanese Language A JCLP4 (Grammar) Japanese Language A JCLP5 (Grammar) | Special Lecture 2A KANJI 1 Japanese Economics & Business Administration A Japanese History & Literature A | Japanese Society & Culture A |
| WED | Japanese Language A JCLP3 (Core) Japanese Language A JCLP4 (Core) Japanese Language A JCLP5 (Oral Expression) | Japanese Language A JCLP3 (Core) Japanese Language A JCLP4 (Core) Japanese Language A JCLP5 (Oral Expression) | Special Lecture 1A JLPT (Level N2) Special Lecture 1A JLPT (Level N1) Japanese Society & Culture A Japanese Economics & Business Administration A | Japanese Martial Arts & Theater A | Special Lecture 1A (Ryukoku Criminology) (E) |
| THURS | Japanese Language A JCLP3 (Core) Japanese Language A JCLP4 (Core) Japanese Language A JCLP5 (Oral Expression) | Japanese Language A JCLP3 (Core) Japanese Language A JCLP4 (Core) Japanese Language A JCLP5 (Oral Expression) | Special Lecture 1A (IGO) Special Lecture 1A (Introduction to Japanese Culture) Japanese Law & Politics (E) | Japanese Religions A | Japanese Language A Japanese Science & Technology A |
| FRI | Japanese Language A JCLP3 (Writing) Japanese Language A JCLP4 (Writing) Japanese Language A JCLP5 (HR) | Japanese Language A JCLP3 (Writing) Japanese Language A JCLP4 (Writing) Japanese Language A JCLP5 (Writing) | Japanese Language A JCLP3・4 (HR) Japanese Language A JCLP5 (Writing) | Japanese Law & Politics A Japanese Religions A (E) | |

4. Program Term and Completion

The length of the JCLP is one year. A student's completion will be recognized when they have studied in the JCLP for one year and have been awarded the required credits for completion (24 credits from the compulsory subjects, Japanese Language A & B and 8 credits from among the elective subjects.)

5. 2024 Academic Calendar

| | 1st Semester | 2nd Semester |
|---------------------|--------------------|--|
| Inauguration | 2 April | 18 September |
| Orientation | 1 April – 8 April | 9 September – 18 September |
| Classes Begin | 9 April | 19 September |
| Examinations | 30 July - 6 August | 22 - 25 January, 27 - 28 January, 1 February |
| Completion Ceremony | 18 September | 18 March |

II. APPLICATION GUIDELINES

1. STUDENT NUMBERS

Maximum Enrollment: 40 Students
Admission Per Semester: Approximately 20 Students

2. ELIGIBILITY

To qualify for admission into the JCLP, the Applicant must fulfill one of the following conditions:

1. The Applicant has completed (or is expected to complete a month before entry into the JCLP) a twelve-year curriculum of education in a foreign country, or one which is recognized by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being of equivalent standard;
2. The Applicant has completed (or is expected to complete a month before entry into the JCLP) a course of study, the curriculum of which is recognized by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as equivalent to that of a Japanese high school;
3. The Applicant is of an age equivalent to that of a Japanese high school graduate, and is judged by Ryukoku University to be of equivalent scholastic ability or higher.

As for Japanese study, the Applicant must have fulfilled one of the following conditions at the point of application:

- 1) The Applicant has studied Japanese for more than 300 hours.
- 2) The Applicant has passed the N4 Grade of the Japanese Language Proficiency Test.

Please note:

※ Applicants who have previously been enrolled in another Japanese language institution inside Japan for a period of more than one year (up to the day of their inauguration into the JCLP) cannot be admitted.

3. GUARANTORS AND FINANCIAL SPONSORS

In order to be admitted to the JCLP at Ryukoku University, a Guarantor and a Financial Sponsor are necessary. The role of the Guarantor and the Financial Sponsor can be taken either by those who reside in Japan or in the Applicant's home country. In addition, the same person can act as the Guarantor and the Financial Sponsor.

— N.B. —

GUARANTOR:

The Guarantor takes full responsibility for the student's activities during his/her entire period in Japan. A Guarantor who is also the Financial Sponsor is responsible for all expenses incurred. Furthermore, a Guarantor acts as a mentor, in order to ensure that the student is able to devote him/herself to study, and does not break Japanese law or contravene Ryukoku University regulations, and does not take part in undesirable activities outside the scope of his/her study.

FINANCIAL SPONSOR:

The Financial Sponsor is responsible for all expenses incurred during the entire period of the student's stay in Japan.

4. APPLICATION PERIODS

Documents must arrive at the university during the dates indicated below. This is an arrival deadline, not a postmark deadline.

SEPTEMBER ENTRY : 1 April 2024 (Mon)—6 May 2024 (Mon)

APRIL ENTRY: 10 September 2024 (Tues)—27 September 2024 (Fri)

5. HOW TO APPLY

Applications must be sent by post according to the following guidelines. All application materials must arrive by the last day of the application period.

1. APPLICATIONS WITHIN JAPAN: Application documents must be sent by registered express mail “Kakitome Sokutatsu Yubin”.
2. APPLICATIONS FROM OVERSEAS: Application documents should be sent by the fastest and safest international mail service, such as EMS.

ADDRESS: Ryukoku University Japanese Culture and Language Program
67 Tsukamoto-cho, Fukakusa, Fushimi-ku, KYOTO 612-8577 JAPAN

6. APPLICATION FEE

¥15,000

※ Application fees are not refundable for any reason.

[Payment from Within Japan] Please make your payment by either of the following methods.

①

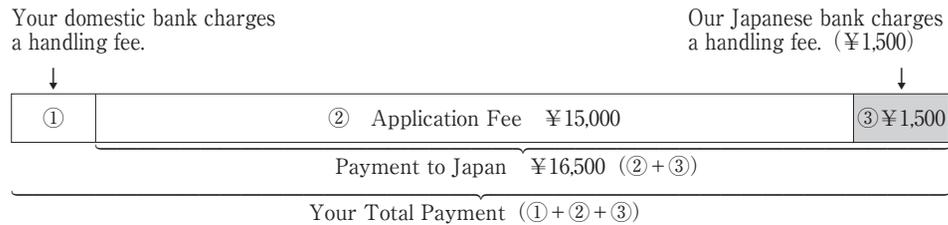
Use the bank transfer form provided to pay the fee. Please have all particulars on the bank transfer form and the transfer receipt completed, including the Applicant's name and the name of the person paying the Application Fee. Affix the transfer receipt (bearing the authorization of the bank) to the designated place on the application form.

[Payment from Overseas] Please make your payment by either of the following methods.

① Payment from Overseas

Please note the following important points if you are sending money from outside Japan: Foreign currency is not accepted. When transferring funds to the following bank account, please assure that the payment is made in Japanese Yen (JPY). All transfer fees shall be paid by the sender. As a standard handling fee of 1,500 JPY is charged by the Japanese bank, the total charge would be 16,500 JPY for the bank transfer. However, additional fees may be charged by intermediary banks. Your application will not be accepted if the bank transfer arrives with insufficient funds, and no refunds will be given if the required amount is not paid. Furthermore, extra funds will not be returned to the sender, even if a handling fee is not charged. Please consult with your bank to confirm the correct amount of handling fees to add to your bank transfer.

Affix the receipt of remittance (bearing the authorization of the bank at which the money was remitted), or a copy of that receipt, to the designated place on the application form.



| | |
|---|--|
| Bank: MUFG Bank, Ltd | Branch: Kyoto-ekimae [TEL: (Japan 81) 75 371 2171] |
| Bank Address: 614, Higashi-Shiokojicho, Karasumanishi-iru, Shiokojidori., Shimogyo-ku, KYOTO, JAPAN | |
| Bank Swift Code: BOTK JP JT | Bank Number: 0005-434 |
| Account Type: Ordinary | Account Number: 3033997 |
| Account Name: Board of Trustees, Ryukoku University | |

※Remittance must be made in the Applicant's name and address.

② Payments through Flywire

Go to ryukoku-globe-app.flywire.com or scan the QR code on the right and follow the steps below to send money.

- ① Select your country.
- ② Select the payment method.
- ③ Enter the Remitter's information.
- ④ Enter the Applicant's information.
- ⑤ Follow the steps to send money.

The payment deadline is 23:59:00 (Japan time) on the last day of the application period.



7. REGARDING APPLICATION DOCUMENTS

1. If application documents are in a language other than Japanese or English, please provide a translation either in Japanese or English.
2. If false or incomplete information is found in the application, the application will be denied.
3. If false information is found on the application or admission documents after your acceptance is announced, the acceptance will be cancelled.
4. If false information is found on the application or admission documents after admission, the student will be asked to leave the university.

8. DOCUMENTS REQUIRED FOR APPLICATION TO THE JCLP

Caution! Applicants are strongly encouraged to make and keep a copy of their entire application, including all additional documents.

(1) Application — Form① (provided)

The Applicant must personally complete every section of the form.

(2) Transcript of Grades and Certificate of Graduation

Submitted documents must be the originals issued by the educational institution.

[For Applicants whose highest academic qualification is high school]

For Applicants who are currently attending high school

- ① Prospective certificate of high school graduation
- ② Transcript for each year of high school
 - ※ Acceptance is subject to high school completion. Therefore, the certificate of graduation will be required by the day of the entrance ceremony.

For Applicants who have graduated from high school

- ① High school certificate of graduation
- ② Transcript for each year of high school

[For Applicants whose highest academic qualification is university or another institution of higher education]

For Applicants who are currently enrolled in university or another program of higher education

- ① High school certificate of graduation
- ② Transcript for each year of high school
- ③ Transcript for each year of university or institution of higher education
- ④ Certificate of enrollment of the university or the institution of higher education

For Applicants who have completed university or other institution of higher education, and hold a bachelor's degree or higher

- ① Original certificate of degree or a certificate to prove the degree.
- ② Original certificate of graduation or completion from university or institution of higher education, or a certificate to prove the graduation / completion.
- ③ Transcript for each year of university or institution of higher education

For Applicants who have completed university or other institution of higher education but have not obtained a bachelor's degree or higher

- ① High school certificate of graduation
- ② Transcript for each year of high school
- ③ Original certificate of graduation / completion from university or institution of higher education or a certificate to prove the graduation / completion.
- ④ Transcript for each year of university or institution of higher education

(3) Evaluation of Japanese Language Proficiency — Form② (provided)

- ① This must be completed by a Japanese language instructor.
- ② Applicants who studied Japanese on their own: Please fill in only 「1. Name of Applicant」, 「4. Level of Proficiency as of Date of Application」, 「5. Study Method」, 「6. Textbook(s) Used to Study」, 「7. Hours of Japanese Study as of Date of Application」 on the form.
- ③ Applicants who have taken the **Japanese Language Proficiency Test** (by Japan Educational Exchanges and Services), or the Japanese language section of the **Examination for Japanese University Admission for International Students** (by Nihon Gakusei Shien Kiko) should attach their notification of results to this application.

(4) Self Introduction Video Recording (Choose One: DVD-R, SD Card, USB Memory Stick)

At the beginning of the recording, be sure to say your name and birthplace.

Next, the Applicant must speak in Japanese about the following for approximately three minutes. (Please do not read from a card. Instead, imagine that you are answering questions in an interview setting.)

- ① Introduction about your present self (what you have studied, what you have thought about so far, etc.)
- ② What you would like to do after entering JCLP
- ③ What your plans are for the future (continuing your studies, job hunting, etc.)

※Please submit your video in MPEG format (MP4 is recommended). If sent in a different format, a resubmission may be requested by the JCLP Coordinators. **Any editing of your video is prohibited.**

※If you are unable to ship a video recording because it is deemed "prohibited" by EMS or another international courier service, please consult us by contacting [inbound.r-globe@ad.ryukoku.ac.jp].

(5) Statement of Purpose — Form③ (provided)

This section must be written in Japanese by the Applicant.

(6) Documents Related to Funding

If funding is supplied by a Financial Sponsor living outside Japan

※ Both the documents mentioned in ① and ② below must bear the name of the Financial Sponsor.

- ① **Bank Account Balance Statement (Submitted documents must be originals.)**
 - Students intending to return to their own country after completion of the JCLP must show sufficient funds to pay the university fees for one year + more than ¥100,000 (living expenses) for each of the 12 months of the study year.
 - Applicants intending to continue studying at a Japanese university must show sufficient funds to pay university fees and living expenses for subsequent years also.
- ② **A Certificate of Employment or an Income Tax Statement**

This document must indicate the Financial Sponsor's yearly income, as well as indicate sufficient assets to cover the expenses mentioned in ① above.
- ③ **A document proving the relationship between the Applicant and the Financial Sponsor** (birth certificate, residency permit, etc).
- ④ **Sponsorship Particulars: Explanation/Pledge** (Please use the provided form) Form④

If funding is supplied by a Financial Sponsor living in Japan

- ① **A Certificate of Employment—‘ZAISHOKU—SHOMEISHO’**

If the Sponsor is self-employed, a copy of the ‘TOKIBO—TOHON’, ‘EIGYO-KYOKASHO’ or the stamped ‘KAKUTEI—SHINKOKUSHO’ is required.
- ② **A Certificate of Income—‘SHOTOKU—SHOMEISHO’**

If the Sponsor is a company employee or a government employee, a source-of-income document—‘GENSEN—CHOSHUYHYO’ is required. If otherwise employed, a certificate which shows the sponsor's income is required.
- ③ **A Certificate of Residence—‘JUMINHYO’**

If the Sponsor is a foreign national, please assure that the following are included on the document: Nationality, Residence Status, Period of stay, Prospective Date of Departure, and Resident Card number. It would be acceptable to list details regarding all or only some

family members.

- ④ A document proving the relationship between the Applicant and the Financial Sponsor. If the Financial Sponsor is a relative of the Applicant, please submit one of the following: birth certificate (KOSEKI TOUHON), certificate of residence (JUMINHYO), or a certificate to prove relationship between Financial Sponsor and Applicant (SHINZOKU KOUSHOUSHO).
If the Financial Sponsor is a friend, please submit an essay about the relationship to the Applicant, or a picture taken together.
- ⑤ **Sponsorship Particulars: Explanation/Pledge**
Please fill out Form④. (provided)

If funding will be supplied by the Applicant

※ Both the documents mentioned in ① and ② below must bear the name of the Applicant.

- ① **Bank Account Balance Statement (Submitted documents must be originals)**
- Students intending to return to their own country after completion of the JCLP must show sufficient funds to pay the university fees for one year + more than ¥100,000 (living expenses) for each of the 12 months of the study year.
 - Applicants intending to continue studying at a Japanese university, however, need to show sufficient funds to pay university fees and living expenses for subsequent years also.
- ② **A Certificate of Employment or an Income Tax Statement**
This document must indicate the applicant's yearly income. It must also document the ability to form the assets mentioned in ①.

If funding is supplied by a scholarship

- ① **A Certificate of Payment of a Scholarship**
This document must indicate the amount, the period, and the source of the scholarship.

(7) Documents Related to the Guarantor

If the Guarantor resides in the Applicant's home country

- ① **Letter of Guarantee**
Please fill out Form⑤. (provided)
- ② **Details of Guarantorship**
Please fill out Form⑥. (provided)

If the Guarantor resides in Japan

- ① **Letter of Guarantee Form**
Please fill out Form⑤ (provided)
- ② **Details of Guarantorship Form**
Please fill out Form⑥ (provided)
- ③ **A Certificate of Employment-‘ZAISHOKU-SHOMEISHO’**
※ If the Guarantor is different from the Financial Sponsor, this document is required.
If the Sponsor is self-employed, a copy of the ‘TOKIBO-TOHON’, ‘EIGYO-KYOKASHO’ or the stamped ‘KAKUTEI-SHINKOKUSHO’ is required.
- ④ **A Certificate of Residence-‘JUMINHYO’**
※ If the Guarantor is different from the Financial Sponsor, this document is required.
If the Guarantor is a foreign national, a Certificate of Residence as a Registered Foreign National-‘GAIKOKUJIN-TOROKUGENPYO’ is required.

(8) Photographs

Five photographs are required. Affix one photograph onto the designated place in the Application Form. Enclose the other four photos with your application. The photos must be 4.0cm × 3.0cm, head and shoulders, full face, without headwear, taken within three months of application. Please write your name on the back of each photograph.

(9) Passport Photocopy

All Applicants who have a passport are required to submit a copy of the page that has their name, passport number and picture along with the application. If you have been to Japan before, please also submit a copy of the page that shows the entrance and departure dates to Japan.

(10) 'Certificate of Eligibility' Representative Application Request Form — Form⑦ (provided)

Applicants can request that Ryukoku University apply on their behalf for the Certificate of Eligibility. Please read 「III. Procedures for Acquiring Resident Status」 (page 42) very carefully.

9. SELECTION METHOD AND SELECTION RESULTS

1. Selection Method

Selection will be made through evaluation of submitted documents. However, the following method will be added when necessary.

① For Applicants

■ Residing in Japan:

- Confirmation by phone of Applicant and Japanese study method (The Applicant must personally answer.)
- An interview at Ryukoku University may be requested if necessary (If the Guarantor and the Financial Sponsor reside in Japan, it is possible they will be interviewed along with the Applicant.)

■ Residing outside Japan:

Confirmation by phone of Applicant and Japanese study method (The Applicant must personally answer.)

② For Guarantor and Financial Sponsor

■ Residing in Japan

- Confirmation by phone of intention to act as a Guarantor and / or a Financial Sponsor (The Guarantor/Financial Sponsor must personally answer.)
- An interview at Ryukoku University may be requested if necessary (If the Applicant resides in Japan, it is possible the Applicant will be interviewed along with the Guarantor and the Financial Sponsor.)

■ Residing outside Japan

Confirmation by phone of intention to act as a Guarantor and / or a Financial Sponsor (The Guarantor / the Financial Sponsor must personally answer).

2. Notification of Results

- (1) Date: September Entry: Beginning of June 2024
April Entry: Beginning of November 2024

- ※ Notification of results will be sent directly to the Applicant by post on the day indicated above. (Results will not be given over the telephone or via e-mail.)
- ※ Selection results will be sent directly to the Applicant's email address. Please note that in the case of difficulty in providing email notification, the results may be sent by post.

10. ADMISSION PROCEDURE

If the application is successful, a Certificate of Acceptance, other necessary documents for admission, and a guide for admission will be sent to you. Please complete all the necessary procedures within the admission period.

1. Admission Processing Fee:

| | |
|--|-----------------|
| Admission Fee | ¥50,000 |
| Tuition Fee for one semester (half a year) | ¥243,500 |
| Total | ¥293,500 |

(The Tuition Fee may be changed from April, 2024.)

- ※ The Admission Processing Fee is comprised of both the Admission Fee and the Tuition Fee for one semester. In the event of a program cancellation after the Admission Processing Fee has been paid, ¥243,500 will be returned to you. (A Placement Holding Fee of ¥50,000, which had secured your spot in the program, is not refundable.)
- ※ Successful Applicants will receive a remittance request from Flywire.
- ※ Please include the money transfer charge for Japan (¥1,500) when you remit the money. We suggest that Applicants check the length of time for the money transfer to be completed at the bank in order to keep the deadline.
- ※ Please keep the receipt of remittance.
It is necessary to receive a Tuition Fee refund in the event that you decline your acceptance.

2. Admission Processing Deadline

September Entry: 13 June 2024 (at the very latest)

April Entry: 14 November 2024 (at the very latest)

11. UNIVERSITY FEES

1. Admission Fee: ¥50,000
2. Tuition Fee: ¥487,000 (One Year)
 - ※ These fees may change for admission in April, 2024.
 - ※ Please pay your first semester tuition fees and the admission fee during the above admission period, and your next semester's tuition by the indicated date after the second semester starts.
3. After admission you will need approximately ¥5,000 for textbooks.

12. Acceptance Declination

After admission is granted, if the Applicant's application for the Certificate of Eligibility is denied, or if the student wishes to enter another university and decides to withdraw from the JCLP, the student can decline the acceptance by submitting necessary documents by the date listed below. (The documents will be sent to the Applicant on request.) The student will later receive the Admission Processing Fee refund. Please note that the Placement Holding Fee (¥50,000) is not refundable under any circumstances.

Deadline of Application for Declination:

(Due to the lengthy procedure, please apply well in advance.)

September Entry: 10 September 2024 (Tues) (the application must reach us by this date)

April Entry: 25 March 2025 (Tues) (the application must reach us by this date)

III. PROCEDURES FOR ACQUIRING RESIDENT STATUS

(To be read carefully before submitting your application)

In principle, international students are required to have a College Student visa to be a student in Japan. Applicants will be advised on the entry procedure to Japan upon approval of their applications.

1. For Applicants who reside in Japan on a different visa

1. If Applicants already hold a 'Study Abroad' visa, a Change of the Period of Stay and change of educational institution must be applied for at the Immigration Office.
2. If Applicants are the Spouse of a Japanese National, Permanent Resident, etc., a change of visa status is not necessary. However, in these cases applicants may not receive certain privileges that are given to those on a 'College Student' visa.
3. If Applicants hold another resident status, the Immigration Office should be consulted.

2. For Applicants who reside outside Japan

To obtain a College Student visa it is necessary to apply for a Certificate of Eligibility. After you receive this, please apply for a College Student visa at the closest Japanese Embassy or Consulate on your own. A Certificate of Acceptance from Ryukoku University and a Certificate of Eligibility from the Japanese Immigration Authorities will be required for the visa. To obtain a Certificate of Eligibility, please follow the procedure below.

1. APPLYING FOR A CERTIFICATE OF ELIGIBILITY

Please apply for a Certificate of Eligibility at the Immigration Bureau in Japan after your Certificate of Acceptance is issued. The application can be made by the Applicant him/herself or by the designated representatives listed below.

| Representative | Where to Apply |
|--|---|
| ① Ryukoku University | Osaka Regional Immigration Bureau, Kyoto Branch |
| ② An organization granting a scholarship | |
| ③ A Sponsor residing in Japan | Osaka Regional Immigration Bureau, Kyoto Branch or the Representative's local Immigration Bureau |
| ④ A relative residing in Japan | |

2. REPRESENTATIVE APPLICATION BY RYUKOKU UNIVERSITY

(1) Requirement for Representative Application for Certificate of Eligibility

Self-funded international students wishing to study in the JCLP can request for the representative application, provided the student meets either of the requirements below.

- ① Those who are able to certify, on the form provided by the university, that they have access to sufficient funds or sponsorship to pay for all expenses during their period of

study.

- ② Those who are granted a sufficient scholarship to cover all the expenses during their period of study.

(2) Requests for Representative Application

If you would like to request representative application, please submit the **Certificate of Eligibility Representative Application** form (provided).

It is entirely the university's decision whether representative application will be granted or not. **No objection against the university will be accepted concerning the result of your request for representative application or the application for a Certificate of Eligibility.** If the documents you submit are deficient in any way, your request for representative application will be denied. The only visa status for which the university can submit a representative application is that of **College Student**.

(3) Procedure for Representative Application for Certificate of Eligibility

- ① Please complete the entry procedures as detailed in the Letter of Acceptance to be sent upon your acceptance.
- ② After confirming the accomplishment of your entry procedure, Ryukoku University will apply for the Certificate of Eligibility in Japan on your behalf.
- ③ When the application for a Certificate of Eligibility is successful, the Certificate of Eligibility will be sent to the Applicant along with the Letter of Acceptance. If unsuccessful, the Applicant will be notified.

(4) Necessary Documents

| | |
|--|---|
| (1) Representative Application Request Form | Please use the form provided by Ryukoku University. |
| (2) Application for Certificate of Eligibility | After confirming the accomplishment of your entry procedures, Ryukoku University will complete the application on your behalf and apply for the Certificate of Eligibility. |
| (3) One Photograph (4.0cm × 3.0cm) | This photograph is included in the 5 photos required for application to the JCLP. (4.0cm × 3.0cm / head and shoulders / without headwear / plain background / clear) |

※ Documents except (2) must be submitted with the JCLP application.

※ By the current Japanese immigration policy, Applicants may be asked for further documents regarding their financial status.

3. REPRESENTATIVE APPLICATION BY AN ORGANIZATION PROVIDING A SCHOLARSHIP, A SPONSOR RESIDING IN JAPAN, OR A RELATIVE RESIDING IN JAPAN.

Applications for a Certificate of Eligibility made by an organization providing a scholarship should be made at the Osaka Regional Immigration Bureau-Kyoto Branch. Applications by a sponsor or relative should be made at their local Immigration Office or at the Osaka Regional Immigration Bureau-Kyoto Branch. Enquiries about the necessary documents and procedure should be directed to the Immigration Bureau.

- ※ For more information about requirements to study in Japan, contact the following:
 - Foreign Residents General Information Center in Osaka
1-29-53 Nankoukita, Suminoe-ku, Osaka
Consulting available in Japanese, English, Spanish, Korean, Chinese, etc.
Tel: 0570-013904 (From overseas: 03-5796-7112)

- ※ For more information about the Certificate of Eligibility
 - For those living in Kyoto:
Osaka Regional Immigration Bureau, Kyoto Branch
Kyoto Dai-2 Chiho Godo Chosha 4F
34-12 Higashi Marutamachi, Marutamachi-Kawabata Higashi-iru
Sakyo-ku, Kyoto
Tel: (075) 752-5997

 - For those living in Osaka:
Osaka Immigration Bureau
1-29-53 Nankoukita
Suminoe-ku, Osaka
Tel: (06) 4703-2100

 - For those living in Nara:
Osaka Regional Immigration Bureau, Nara Branch
Nara Dai-2 Homu Sogo Chosha
3-4-1 Kidera-cho, Nara
Tel: (0742) 23-6501

 - For those living in Shiga:
Osaka Regional Immigration Bureau, Otsu Branch
Otsu Biwako Godo Chosha 6F
3-1-1 Kyomachi, Otsu
Tel: (077) 511-4231

IV. GUIDE TO STUDENT LIFE

1. SCHOLARSHIPS

“The Foreign Student’s Scholarship” (¥22,500 per month) and “Ministry of Education Honors Scholarship for International Students” (¥48,000 per month)※ are provided for students in the JCLP. They are granted to the students who are selected for their superior character and attitude towards their studies. (cf. p.13)

※The “Ministry of Education Honors Scholarship for International Students” is offered on an irregular basis. Please note that in some academic years, it may not be possible to apply.

2. ACCOMMODATION

Ryukoku University provides rooms for approximately 190 international students in 3 dormitories. Some Japanese students also live in these dormitories to assist the international students with day-to-day living and study. The Ryukoku Students’ Co-operative Society can introduce students to various other accommodations. (cf. p.13~14)

3. LIVING EXPENSES

Students will need funds of at least ¥100,000 per month for living expenses in Kyoto.

4. MEDICAL EXPENSES & HEALTH INSURANCE

1. National Health Insurance

All international students who are in Japan for three months or more are obliged to join the National Health Insurance policy. To register, students will need to pay the insurance fees. 70% of the total medical cost will be borne by the National Health Insurance.

V. Reference Sheet Regarding the Assessment of Japanese Skills

For the Japanese ability assessments [Form 1-3] and [Form 2-1], please provide an evaluation between A1 to C2, according to the language proficiency degree stipulated by the Common European Framework of Reference for Languages (CEFR). While doing so, please refer to the attached CEFR evaluation table.

<Example>

In the case that one feels their Reading and Writing skills are up to A2 level, and that their Listening, Spoken Interaction, and Spoken Production skills are up to B1 level.

| | 理解すること UNDERSTANDING | | 話すこと SPEAKING | | 書くこと WRITING |
|---------------------------------|-------------------------|-----------------|-------------------------------|----------------------------|-----------------|
| | 聞くこと Listening | 読むこと Reading | やり取り Spoken Interaction | 表現 Spoken Production | 書くこと Writing |
| Provide a rating from A1~C2. | B1 | A2 | B1 | B1 | A2 |

【Reference】

Please see the following websites for more information regarding the Common European Framework of Reference for Languages (CEFR).

【Information in Japanese】

https://jfstandard.jp/pdf/web_reference.pdf

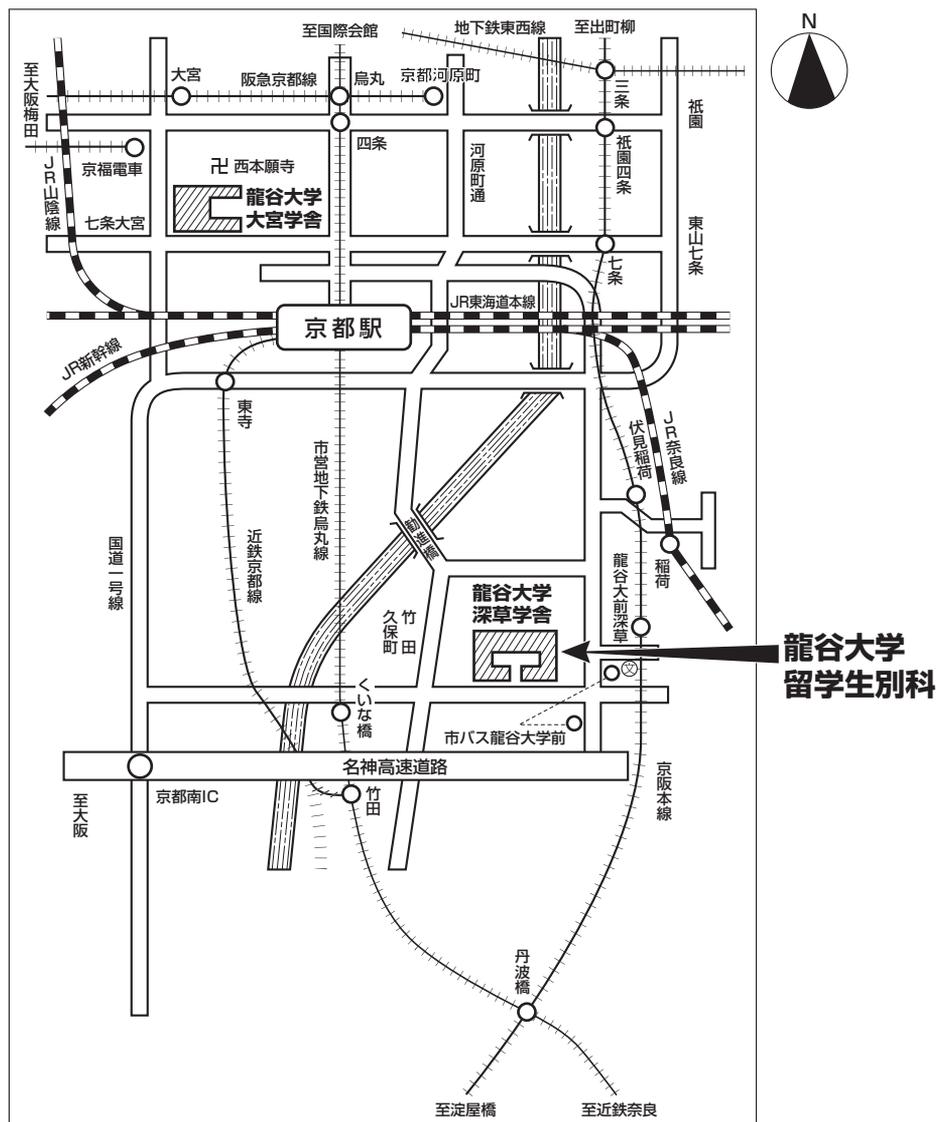
【Information in 31 European Languages】

<https://www.coe.int/en/web/portfolio/self-assessment-grid>

【Information in Chinese】

<https://www.hjenglish.com/xiazai/p361594/>

| | A1 | A2 | B1 | B2 | C1 | C2 |
|----------------------------------|---|---|--|---|--|--|
| U N D E R S T A N D I N G | Listening | Reading | Spoken Interaction | Spoken Production | Writing | |
| | I can recognise familiar words and very basic phrases concerning myself, my family and immediate concrete surroundings when people speak slowly and clearly. | I can understand phrases and the highest frequency vocabulary related to areas of most immediate personal relevance (e.g. very basic personal and family information, shopping, local area, employment). I can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements. | I can understand texts that consist mainly of high frequency everyday or job-related language. I can understand the description of events, feelings and wishes in personal letters. | I can understand extended speech and lectures and follow even complex lines of argument provided the topic is reasonably familiar. I can understand most TV news and current affairs programmes. I can understand the majority of films in standard dialect. | I can understand long and complex factual and literary texts, appreciating distinctions of style. I can understand specialised articles and longer technical instructions, even when they do not relate to my field. | I have no difficulty in understanding any kind of spoken language, whether live or broadcast, even when delivered at fast native speed, provided I have some time to get familiar with the accent. |
| | I can understand familiar names, words and very simple sentences, for example on notices and posters or in catalogues. | I can read very short, simple texts. I can find specific, predictable information in simple everyday material such as advertisements, prospectuses, menus and timetables and I can understand short simple personal letters. | I can deal with most situations likely to arise whilst travelling in an area where the language is spoken. I can enter unprepared into conversation on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (e.g. family, hobbies, work, travel and current events). | I can interact with a degree of fluency and spontaneity that makes regular interaction with native speakers quite possible. I can take an active part in discussion in familiar contexts, accounting for and sustaining my views. | I can express myself fluently and spontaneously without much obvious searching for expressions. I can use language flexibly and effectively for social and professional purposes. I can formulate ideas and opinions with precision and relate my contribution skilfully to those of other speakers. | I can read with ease virtually all forms of the written language, including abstract, structurally or linguistically complex texts such as manuals, specialised articles and literary works. |
| | I can interact in a simple way provided the other person is prepared to repeat or rephrase things at a slower rate of speech and help me formulate what I'm trying to say. I can ask and answer simple questions in areas of immediate need or on very familiar topics. | I can communicate in simple and routine tasks requiring a simple and direct exchange of information on familiar topics and activities. I can handle very short social exchanges, even though I can't usually understand enough to keep the conversation going myself. | I can connect phrases in a simple way in order to describe experiences and events, my dreams, hopes and ambitions. I can briefly give reasons and explanations for opinions and plans. I can narrate a story or relate the plot of a book or film and describe my reactions. | I can present clear, detailed descriptions on a wide range of subjects related to my field of interest. I can explain a viewpoint on a topical issue giving the advantages and disadvantages of various options. | I can present clear, detailed descriptions of complex subjects integrating sub-themes, developing particular points and rounding off with an appropriate conclusion. | I can take part effortlessly in any conversation or discussion and have a good familiarity with idiomatic expressions and colloquialisms. I can express myself fluently and convey finer shades of meaning precisely. If I do have a problem I can backtrack and restructure around the difficulty so smoothly that other people are hardly aware of it. |
| | I can use simple phrases and sentences to describe where I live and people I know. | I can use a series of phrases and sentences to describe in simple terms my family and other people, living conditions, my educational background and my present or most recent job. | I can write simple connected text on topics which are familiar or of personal interest. I can write personal letters describing experiences and impressions. | I can write clear, detailed text on a wide range of subjects related to my interests. I can write an essay or report, passing on information or giving reasons in support of or against a particular point of view. I can write letters highlighting the personal significance of events and experiences. | I can express myself in clear, well-structured text, expressing points of view at some length. I can write about complex subjects in a letter, an essay or a report, underlining what I consider to be the salient issues. I can select style appropriate to the reader in mind. | I can present a clear, smoothly-flowing description or argument in a style appropriate to the context and with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points. |
| W R I T I N G | I can write a short, simple postcard, for example sending holiday greetings. I can fill in forms with personal details, for example entering my name, nationality and address on a hotel registration form. | I can write short, simple notes and messages relating to matters in areas of immediate needs. I can write a very simple personal letter, for example thanking someone for something. | | | | I can write clear, smoothly-flowing text in an appropriate style. I can write complex letters, reports or articles which present a case with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points. I can write summaries and reviews of professional or literary works. |



利用交通機関のご案内

深草学舎

- | | |
|-----------|---|
| J R 奈 良 線 | 稲荷駅下車西南へ徒歩約 8 分 |
| 京 阪 電 鉄 | 龍谷大前深草駅下車西へ徒歩約 3 分 |
| 阪 急 電 鉄 | 京都河原町下車徒歩約 2 分→京阪 祇園四条経由で京阪龍谷大前深草駅下車 |
| 京都市営地下鉄 | くいな橋下車東へ徒歩約 7 分 |



**RYUKOKU
UNIVERSITY**

グローバル教育推進センター

Center for the Promotion of Global Education (R-Globe) Office

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL : +81-(0) 75-645-7898 FAX : +81-(0) 75-645-2020

E-MAIL : r-globe@ad.ryukoku.ac.jp

HP : <https://www.ryukoku.ac.jp>